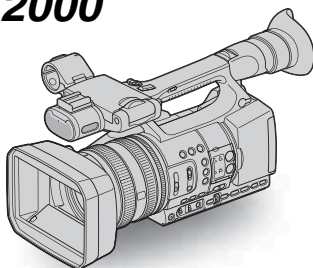
SONY

4-163-319-**04** (1)

デジタルHDビデオカメラレコーダー

HANDYCAM®

取扱説明書

HDR-AX2000

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

→104～106ページも
あわせてお読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら
煙が出たら

➊ **電源を切る**
➋ **電池をはずす**
➌ **ソニーの相談窓口に連絡する**

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

➊ **すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。**

➋ **液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**

➌ **液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**

➍ **液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機で記録した画像をパソコンで扱う方法は

付属のCD-ROM「Content Management Utility」収録の「ヘルプ」をご覧ください。

本機で使えるメモリーカード

- 本機で使用できるメモリーカードは、“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2）、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、およびスピードClass 4以上の SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は32GB、SDカードは64GBまでです。
- 使用可能なメモリーカードの最新情報につきましてはホームページをご確認ください(裏表紙)。
- 本書では、“メモリースティック PRO デュオ”（Mark2）、“メモリースティック PRO-HG デュオ”を「“メモリースティック PRO デュオ”」、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード を「SDカード」と表現しています。
- メモリーカード1枚あたりの撮影可能時間は、92ページをご覧ください。

ご注意

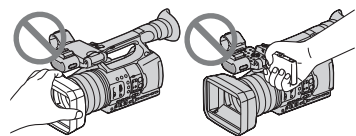
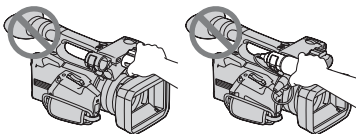
- マルチメディアカードは使用できません。
- SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT*に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているかあらかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、初期化画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

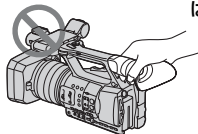
* exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。

本機で使えるメモリーカードのサイズ

- 標準の“メモリースティック”の約半分の大きさの“メモリースティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。

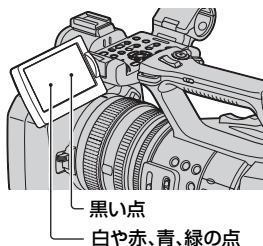
故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。

レンズカバー付きフード　　液晶パネル

内蔵マイク

マイク（別売）またはマイクホルダー

ファインダー

ご注意
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください（98ページ）。
- 本機をケーブル類で他機と接続するときは端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意
- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では使えません（同時に選べません）。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかったりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

黒い点
白や赤、青、緑の点

ファインダー、レンズ、および液晶画面を絶対に太陽や強い光源に向けたままにしない
- 特にファインダー、レンズを太陽や強い光源に向けたままにすると、集光により内部部品の破損の原因となります。使用しないときには、太陽や強い光源に向かないように置き場所を工夫するか、レンズカバー、バッグなどを使用して保護してください。

本機やバッテリーの温度に関するご注意
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます（89ページ）。

録画/録音に際してのご注意
- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、または性能の限界により画像や音声が乱れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
  - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見える（特に、動解像度表現に優れたモニターなどの場合）。
  - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます（27ページ）。
  - 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

再生に際してのご注意

- 本機は、ハイビジョン画質（HD）の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でハイビジョン画質（HD）で記録した映像は、次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格に対応していない機器
- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質（SD）の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

ハイビジョン画質（HD）で記録したディスクは

- AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレイヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質（HD）のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

撮影した画像データは保存してください

- 万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データは定期的に保存してください。画像データは付属のソフトウェアを使ってパソコンに保存することをおすすめします。

画像が正しく記録/再生されないときは[メディア初期化]してください

- 長時間、画像の撮影/消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化（フラグメンテーション）されて、画像が正しく記録、保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[メディア初期化]（57ページ）を行ってください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

- 本機やパソコンの機能による「メディア初期化」や「全削除」では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

本機の操作方法について

- 本機では、SEL/PUSH EXECダイヤル/←/→ボタン（17ページ）、↑/↓/←/→/EXEC ボタン（60ページ）、タッチパネルで操作が行えます。ただし、MENUの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

目次

準備する

撮る / 見る

編集する

メニューで設定を変更する

他機器と接続する

次のページへつづく➡

困ったときは

その他

安全のために 104

各部のなまえ・索引

準備 1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内は個数。

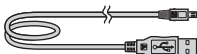
- メモリーカード、リチャージャブルバッテリーパック、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるメモリーカードについては3ページ、96ページをご覧ください。

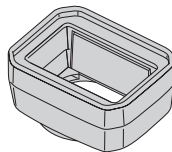
ワイヤレスリモコン(RMT-845)(1)(111ページ)

ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

D端子コンポーネントビデオケーブル(1)(46ページ)

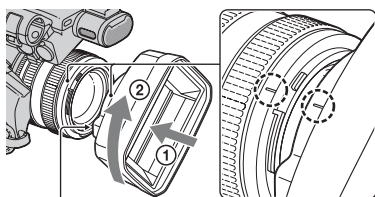
A/V接続ケーブル(1)(46、76ページ)

USBケーブル(1)(76ページ)

大型アイカップ(1)(16ページ)

レンズカバー付きフード(1)(10ページ)
本機にあらかじめ取り付けられています。

CD-ROM「Content Management Utility」(1)

取扱説明書<本書>(1)

保証書(1)

準備 2:レンズカバー付きフードを取り付ける

PUSH(レンズフード取り外し)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

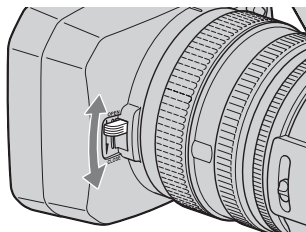
レンズカバー付きフードを取り外すには

PUSH(レンズフード取り外し)ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

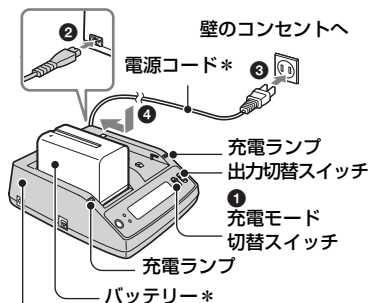
ちょっと一言

- 直径72ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズカバー付きフードを取り外してください。

レンズカバーを開閉するには

レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。

準備 3:バッテリーを充電する

別売のアクセサリーキットの取扱説明書もあわせてご覧ください。
専用の"インフォリチウム"バッテリー(Lシリーズ)をACアダプター/チャージャーに取り付けて充電します。

ご注意
- "インフォリチウム"バッテリー(Lシリーズ)(97ページ)以外のバッテリーは使えません。

＊別売のACCKIT-D20に付属

1 出力切替スイッチをCHARGEに、充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」(実用充電)または「FULL CHARGE」(満充電)にする。

2 電源コードをACアダプター/チャージャーにつなぐ。

3 電源コードをコンセントにつなぐ。

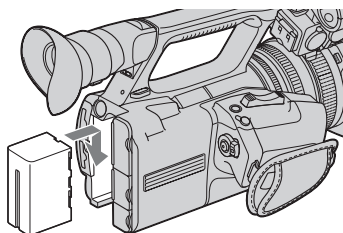
4 バッテリーを押しながら、矢印の方向にずらして取り付ける。

充電ランプが点灯し、充電が始まります。

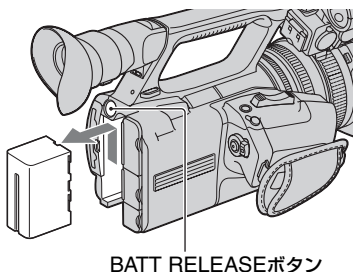
充電について

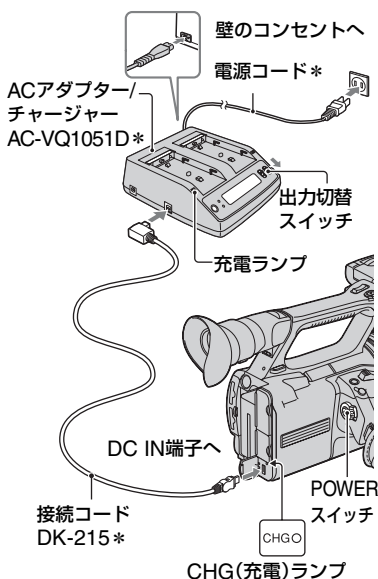
充電モード切替スイッチを「NORMAL CHARGE」にすると実用充電まで、「FULL CHARGE」にすると若干長く使える満充電まで充電します。充電が終わると表示窓のバッテリーマーク( )がすべて点灯します。

本機にバッテリーを取り付けるには

バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。

ちょっと一言
- ステータスチェックでバッテリー残量を確認できます(45ページ)。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする。BATT RELEASEボタンを押しながら、バッテリーを取り外す。

本体内充電するには

本機に取り付けたバッテリーを充電できます。

＊別売のACCKIT-D20に付属

① バッテリーを本機に取り付ける。
② 接続コードを本機のDC IN端子につなぐ。
③ 接続コードを AC アダプター/ チャージャーにつなぐ。
④ 電源コードを AC アダプター/ チャージャーにつなぐ。
⑤ 電源コードをコンセントにつなぐ。
⑥ AC アダプター/ チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。

ご注意

- ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチが「CHARGE」側になっていると電源は供給されません。

⑦ 本機の POWER スイッチを「OFF（CHG）」にする。
本機のCHG（充電）ランプが点灯し、充電が始まります。
充電が終わると、CHGランプが消えます（満充電）。
⑧ 接続コードを本機のDC IN端子から抜く。

保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管してください。（保管について詳しくは98ページをご覧ください。）

充電時間

ACアダプター/チャージャーの取扱説明書を参照してください。

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF（CHG）」にしてから行ってください。
- 次のとき、バッテリーインフォ（45ページ）が正しく表示されないことがあります。
  – バッテリーを正しく取り付けていないとき
  – バッテリーが故障しているとき
  – バッテリーが劣化しているとき
  – バッテリーの温度が低いとき
  バッテリーを外して暖かいところに置いてください。

– バッテリーの温度が高いとき
バッテリーを外して涼しいところに置いてください。

コンセントにつないで使うには

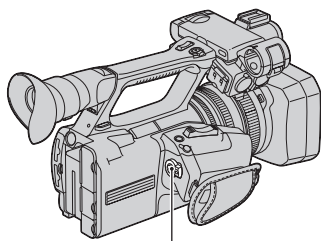
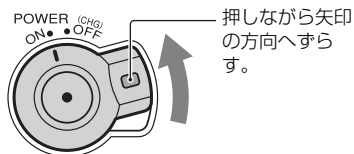
バッテリーが切れることを心配しないで使えます。また、バッテリーを取り付けたまま使っても、バッテリー自体は消耗しません。

① ACアダプター/チャージャーの出力切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
② 「本体内充電するには」と同じ方法で接続する（12ページ）。

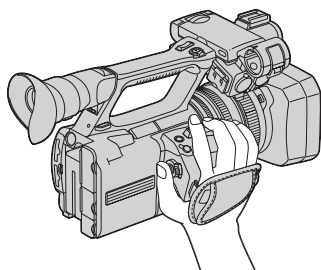
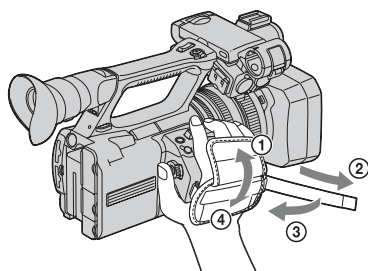
ACアダプター/チャージャーについて

- ACアダプター/チャージャーは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプター/チャージャーを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプター/チャージャーのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備 4:電源を入れて正しく持つ

撮影や再生時は、POWERスイッチを「ON」にします。
初めて電源を入れると自動的に[日時あわせ]画面になります（17ページ）。

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

ご注意

- [日時あわせ]（17ページ）を行った後で本機の電源を入れると、液晶画面に現在の日時が数秒間表示されます。

2 本機を正しく構える。

3 ベルトをしっかりと締める。

電源を切るには

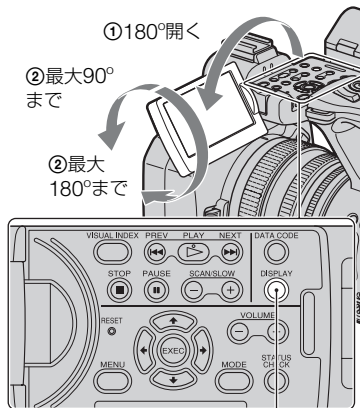
POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする。

ご注意

- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください（90ページ）。

準備 5:液晶画面とファインダーを調節する

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を180°に開ききった状態(①)で、見やすい角度に調節する(②)。

ちょっと一言

- 対面撮影にも活用できます。液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

液晶画面バックライトを消してバッテリーを長持ちさせるには

DISPLAYボタンをOFFが表示されるまで数秒間押したままにする。

明るい場所で使うときや、バッテリーを長持ちさせるときに効果的です。録画される画像には影響ありません。

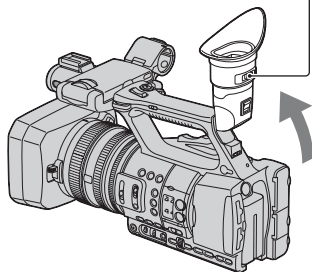
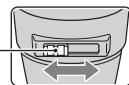
解除するには、もう一度OFFが消えるまで押したままにする。

また、本機の電源の入/切でも解除されます。

ちょっと一言

- 液晶画面の明るさは、[パネル明るさ](73ページ)で調節できます。

ファインダーを見やすく調節する

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、液晶画面を閉じて、ファインダーで画像を見ることもできます。

ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。
  また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

ちょっと一言

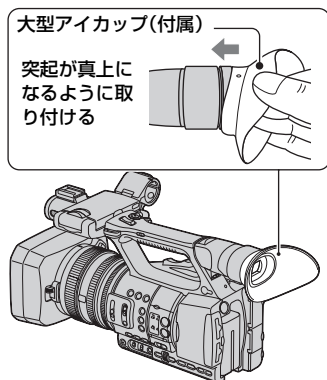
- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VFバックライト]で設定できます(74ページ)。
- 液晶画面とファインダーの両方に画像を映すには、[VF点灯モード]を[入]にします(74ページ)。

準備する

ファインダーの画像が見えにくいときは

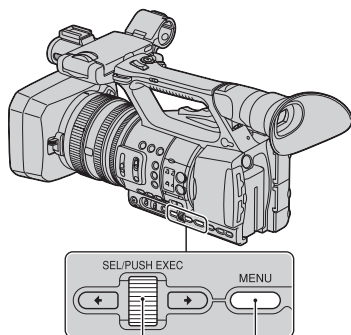
周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて大型アイカップを取り付けます。大型アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取り外さないでください。

準備 6:日付時刻を合わせる

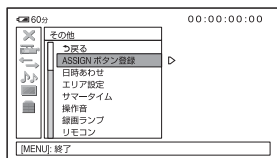
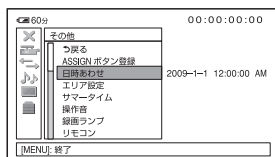
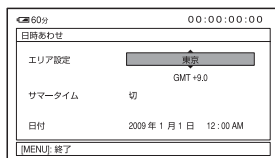
初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに[日時あわせ]画面が表示されます。

ちょっと一言

- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(100ページ)。

SEL/PUSH EXEC ダイヤル　MENUボタン

初めて時計を合わせるときは、手順**4**から操作してください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (その他)メニューを選び、押して決定する。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[日時あわせ]を選び、押して決定する。

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してエリアを選び、押して決定する。

5 同様に、[サマータイム]、[年]、[月]、[日]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。

時計が動き始めます。

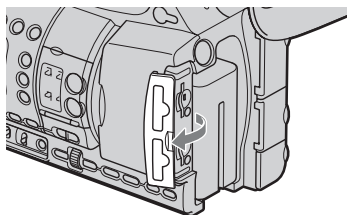
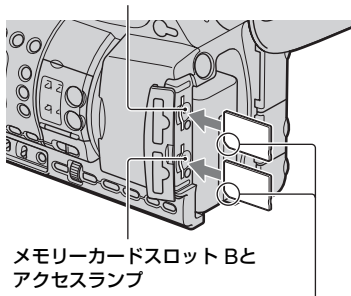
- [サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。
- [年]は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

準備する

ちょっと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます（DATA CODEボタン、44ページ）。

準備 7：メモリーカードを入れる

1 カバーを開ける。

2 メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして、「カチッ」というまで押し込む。

ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- スタンバイ状態で、新しいメモリーカードを入れたときは、[管理ファイル新規作成]画面が表示されます。画面に従い、[はい]をタッチしてください。

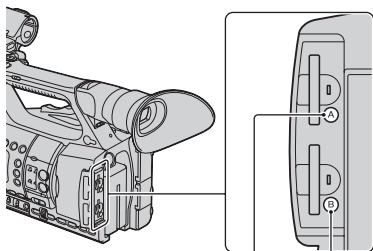
メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリーを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 手順**2**で［管理ファイルを新規作成できませんでした　空き容量がたりない可能性があります］と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(57ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

記録したいメモリーカードが入ったメモリーカードスロット AまたはBボタンを押す。選択されているスロットのアクセスランプが緑色に点灯します。

メモリーカードスロット
Aボタン

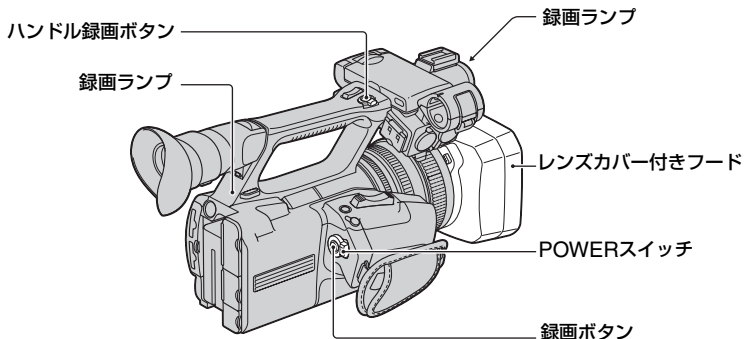
メモリーカードスロット
Bボタン

ご注意

- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- 動画の記録中に、メモリーカードスロット A/Bボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。

ちょっと一言

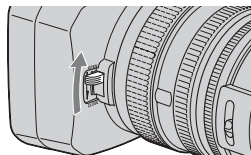
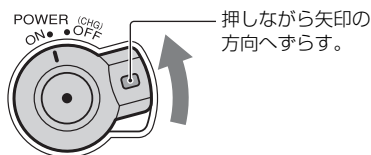
- メモリーカードが1枚だけ挿さっているときは、メモリーカードが挿さっているスロットが自動的に選択されます。
- 録画中にメモリーカードの容量がいっぱいになった場合、もう一方のスロットにメモリーカードが挿入されていれば、自動で切り替わります（リレー記録、22ページ）。

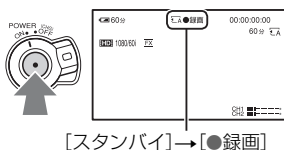
撮る

本機は動画をメモリーカードに記録します。下記の手順で動画を撮影します。

- 動画はハイビジョン画質（HD）、標準画質（SD）いずれの画質でも記録できます。お買い上げ時はハイビジョン画質（HD）で撮影するように設定されています（[録画フォーマット]、23ページ）。

ご注意

- アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、撮影したデータをメモリーカードに書き込み中です。本機に衝撃や振動を与えたり、バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。
- 動画の記録時間は92ページをご覧ください。
- 動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- 撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定はPOWERスイッチを「OFF」にすると保存されます。保存処理中はアクセスランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る可能性があります。

1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。

2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

3 録画ボタン(またはハンドル録画ボタン)を押して撮影を始める。

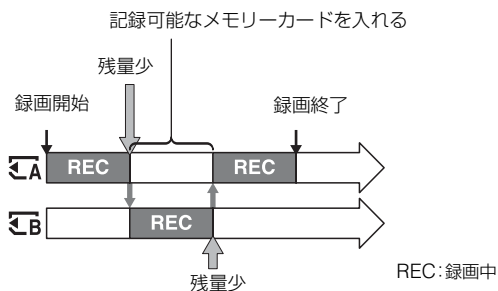
[スタンバイ]→[●録画]

撮影中は録画ランプが点灯します。
動画撮影を止めるには、録画ボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押す。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)での撮影時は、画像のアスペクト比は16:9に固定されます。標準画質(SD)で撮影するときは、4:3に切り換えることもできます([SDワイド記録]、68ページ)。
- 撮影中の画面表示の切り換えについては44ページをご覧ください。
- 撮影中の画面表示については112ページをご覧ください。
- 録画ランプが点灯しないように設定できます([録画ランプ]、75ページ)。
- ローアングルで撮るときは、ハンドル録画ボタンを使うと便利です。HOLDレバーを解除してから、操作してください。液晶画面を上に向ける、または液晶画面を下に向けてから閉じる、あるいはビューファインダーを上げて撮影することをおすすめします。
- 本機では、記録した動画から静止画を作成できます(54ページ)。

次のページへつづく→

メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影するには（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A（またはメモリーカード B）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。

ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にメモリーカードスロットA/Bボタンを押しても、スロットの切り換えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[A → B]または[B → A]が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、同梱のソフトウェアを使用してください（Windows）。

記録フォーマットを選ぶ

記録フォーマット（ビットレート、画質、画サイズ、フレームレート、スキャン方式）を選べます。お買い上げ時は［HD 1080/60i FX］に設定されています。

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、（録画/出力設定）→［録画フォーマット］を選択する。

設定値	説明	
HD 1080/60i FX	ビットレート	FX：最大24Mbps FH：約17Mbps（平均） HQ：約9Mbps(平均) LP：約5Mbps(平均)
HD 1080/60i FH		
HD 1080/60i HQ	画質	HD：ハイビジョン画質 SD：標準画質
HD 1080/60i LP		
HD 1080/30p FX	画サイズ	FX：1920×1080 FH：1920×1080 HQ：HD録画時 1440×1080 SD録画時 720×480 LP：1440×1080
HD 1080/30p FH		
HD 1080/24p FX	フレームレート	24、30、60のいずれか
HD 1080/24p FH	スキャン方式	i：インターレース p：プログレッシブ pSCAN：プログレッシブスキャンの映像を、インターレース（60i）信号として記録します。
SD 480/60i HQ		
SD 480/30p SCAN HQ		
SD 480/24p SCAN HQ		

設定値について

設定値の値がそれぞれ何を表しているかをHD 1080/60i FXを例に説明します。

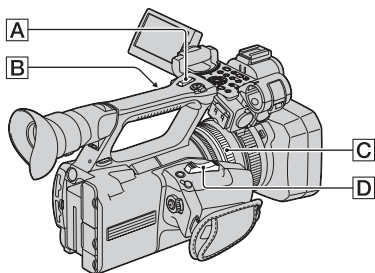
- HD：ハイビジョン画質を表します。SDのときは標準画質です。
- 1080：有効走査線数を表しています。
- 60：フレームレートを表します。
- i：スキャン方式を表します。
- FX：録画モードを表します。

ご注意

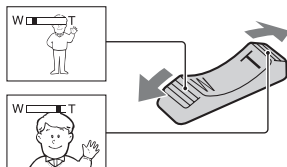
- スキャン方式がプログレッシブ時の録画モードは、FXまたはFHに固定されます。

撮る/見る

思い通りの設定で撮る

ズームする

ズームレバーを使うには

ズームレバーDを軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

広角：Wide（ワイド）

望遠：Telephoto（テレフォト）

ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。
- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバーDから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーDの操作音が記録されることがあります。

ハンドルズームを使うには

① ハンドルズームスイッチBを「VAR」または「FIX」にする。

ちょっと一言

- 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます（スピードはメニューで設定します。[ハンドルズームスピード]、66ページ）。

② ハンドルズームレバーAを押してズームする。

ご注意

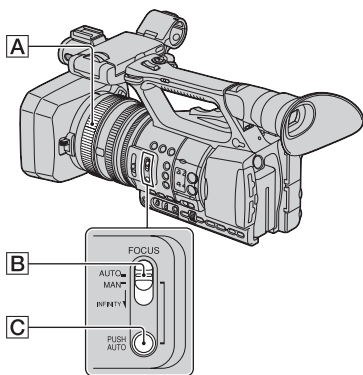
- ハンドルズームスイッチBが「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスイッチBで本体のズームレバーDの速さを変えることはできません。

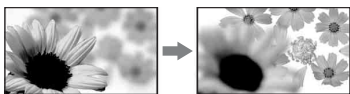
ズームリングを使うには

ズームリングCを回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

ご注意

- ズームリングCは適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングCの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

ピントを手動調節する

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。
以下のようなときに使います。

– 水滴の付いた窓の向こうの被写体
– 横じまの多い被写体
– 背景とコントラストの弱い被写体
– 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

– 三脚で撮影する静止した被写体

1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチBを「MAN」にする。

が表示されます。

2 フォーカスリングAを回し、ピントが合うように調節する。

は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき に変わり、それ以上近くに合わせられないとき に変わります。

ちょっと一言
ピント合わせのコツ
- 始めにズームをT側（望遠）でピントを合わせてから、W側（広角）に戻していきます。
- 接写時は、逆にズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

自動調節にするには

FOCUSスイッチBを「AUTO」にする。
が消え自動調節に戻ります。

一時的にオートフォーカスで撮る（プッシュオートフォーカス）

PUSH AUTOボタンCを押したまま撮影する。
指を離すと手動ピント合わせに戻ります。
手動ピント合わせで、ある被写体から別の被写体にピントを移すようなときに使うと、なめらかな場面展開になります。

ちょっと一言
- 次のとき、フォーカス距離情報（ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します）を約3秒間表示します。（別売のコンバージョンレンズを付けているときは正しく表示されません。）
  – FOCUSスイッチBを「MAN」にしてを表示させたとき
  – 表示中にフォーカスリングを回したとき

次のページへつづく→

拡大表示をしてピントを合わせる（拡大フォーカス）

ASSIGN7ボタンに［EXPANDED FOCUS］が割り当てられています（38ページ）。
ASSIGN7ボタンを押す。
［EXPANDED FOCUS］が表示され、画面中央が約2.0倍に拡大されます。ピントが合っているかを確認するときに便利です。
もう一度押すと元に戻ります。

ご注意
- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

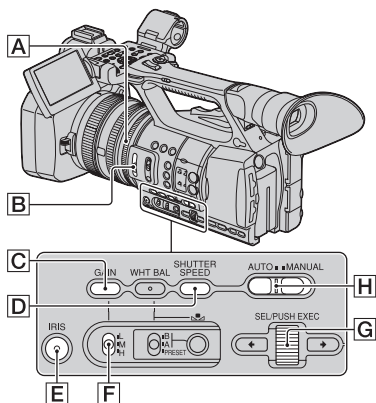
ちょっと一言
- 拡大フォーカス時の画像タイプを選択できます（［EXPANDED FOCUSタイプ］、73ページ）。

遠くの被写体にピントを合わせる（フォーカス無限）

FOCUSスイッチBを「INFINITY」までスライドさせたままにする。

▲が表示されます。
指を離すと手動ピント合わせに戻ります。
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

ご注意
- フォーカス無限は、ピントを手動調節中のみ有効です。ピントを自動調節しているときは働きません。

明るさを調節する

アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターBを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。

ご注意
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つが手動設定のとき、［逆光補正］や［スポットライト］は［切］になります。
- ［AEシフト］はアイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてを手動調節していると一時的に無効になります。

アイリスを調節する

レンズに入る光量をＦ1.6～Ｆ11、クローズ（クローズ）の範囲で調節できます。絞りを開く（アイリス値を小さくする）と光量が増えます。絞りを閉じる（アイリス値を大きくする）と、光量が減ります。
画面にアイリス値が表示されます。

① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチHを「MANUAL」にする。

② アイリスが自動調節になっているときは、IRISボタンEを押す。

アイリス値が表示されます。または、アイリス値の横のAが消えます。

③ アイリスリングAを回して調節する。
ASSIGNボタンに[プッシュオートアイリス]を割り当てると、そのASSIGNボタンを押している間は、アイリスが自動調節されます。ASSIGNボタンについては、38ページをご覧ください。

ちょっと一言

- アイリス値をF3.4よりも絞りを開いた(アイリス値が小さい)値(例:F1.6)に設定してもズームがW→TになるにつれてアイリスはF3.4に変化します。
- 絞りの重要な効果であるピントの合う範囲のことを「被写界深度」といいます。被写界深度は絞りを開けると浅く(ピントの合う範囲が狭く)なり、絞りを閉じると深く(ピントの合う範囲が広く)なります。撮影の意図によって絞りの効果を上手に使い分けてください。
- 背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

自動調節にするには

IRISボタンEを押す。または、AUTO/MANUALスイッチHを「AUTO」にする。
アイリス値が消えます。または、アイリス値の横にAが表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチHを「AUTO」にすると、他の手動調節(ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によるゲインアップを行いたくないときなどに使います。

① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチHを「MANUAL」にする。

② ゲインが自動調節になっているときは、GAINボタンCを押す。
ゲイン値の横のAが消えます。または、ゲイン値が表示されます。

③ ゲインスイッチFでH/M/Lを選択する。
設定されたゲイン値が表示されます。
H/M/Lの値は、(カメラ設定)メニュー の[ゲイン設定]でそれぞれ設定します(64ページ)。

自動調節にするには

GAINボタンCを押す。または、AUTO/MANUALスイッチHを「AUTO」にする。
ゲイン値が消えます。または、ゲイン値の横にAが表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチHを「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、シャッタースピード、ホワイトバランス)も解除されます。

ちょっと一言

- ハイビジョン画質(HD)では、ゲインを[-6dB]に設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をすると、ゲインは[---]表示となります。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

① 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチHを「MANUAL」にする。

② シャッタースピード値が反転表示されるまで、SHUTTER SPEEDボタンDを押す。

③ SEL/PUSH EXECダイヤルGを回して、シャッタースピードを調節する。
1/4秒～1/10000秒から選べます。
シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

撮る/見る

次のページへつづく→

④ SEL/PUSH EXECダイヤル G を押して、シャッタースピードを固定する。
再度変更したい場合は、手順 ② から ④ を行います。

ちょっと一言

- フレームレートが24pまたは24pSCANのときは、シャッタースピードを1/3〜1/10000秒の範囲で設定できます。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

自動調節にするには

シャッタースピード固定状態からSHUTTER SPEEDボタン D を2回押す。
または、AUTO/MANUALスイッチ H を「AUTO」にする。
シャッタースピード値が消えます。または、シャッタースピード値の横に A が表示されます。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ H を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、ホワイトバランス)も解除されます。

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルター B を使うと被写体を鮮明に撮影できます。
NDフィルター1は光量を約1/4に、NDフィルター2は約1/16に、NDフィルター3は約1/64に削減するようにそれぞれ設定されています。

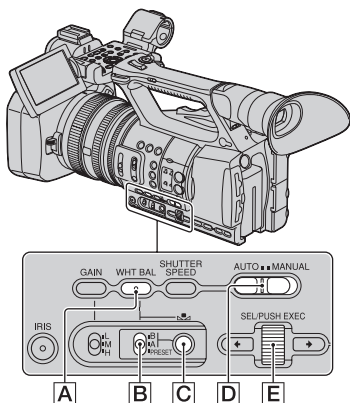
アイリスを自動調節しているとき、ND1 が点滅したときは、NDフィルター1に、ND2 が点滅したときはNDフィルター2に、ND3 が点滅したときはNDフィルター3にします。
NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。
NDOFF が点滅したときは、ND フィルタースイッチ B を「OFF」にしてください。NDフィルター表示が消えます。

ご注意

- 撮影中にNDフィルター B を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
- アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
- NDフィルターの位置(OFF/1/2/3)を検出できないときは、画面上に ND が点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

ちょっと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルター B を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）

撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。
A（A）、またはB（B）を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。
「PRESET」を選ぶと、あらかじめ（カメラ設定）メニューの[WBプリセット]で選んだ[屋外]、[屋内]のいずれかが設定されます。

---

1 撮影またはスタンバイ中に、AUTO/MANUALスイッチDを「MANUAL」にする。

---

2 WHT BALボタンAを押す。

---

3 ホワイトバランスメモリースイッチBを、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

表示	撮影状況例
A（メモリーA） B（メモリーB）	● メモリーA/Bそれぞれに、光源に合わせたホワイトバランスの調整値を記憶させることができます。「メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには」の手順に従ってください（29ページ）。
屋外	● 夜景やネオン、花火などを撮るとき ● 日の出、日没などを撮るとき ● 昼光色蛍光灯の下
屋内	● パーティー会場など照明条件が変化する場所 ● スタジオなどビデオライトの下 ● ナトリウムランプや水銀灯の下

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

① 「自然な色合いに調節する（ホワイトバランス）」の手順 **3** で A（A）または B（B）を選ぶ。

② 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。

③ （one push）ボタン C を押す。
A または B が早い点滅に変わります。ホワイトバランスが調節されると、点滅から点灯に変わり、選んだ A または B に調整値が記憶されます。

ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、 Aまたは Bが早い点滅から遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。

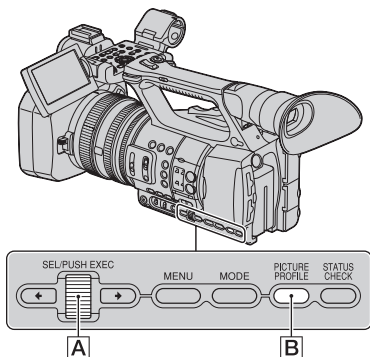
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調節に戻すには

WHT BALボタン[A]を押す。または、AUTO/MANUALスイッチ[D]を「AUTO」にする。

ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[D]を「AUTO」にすると、他の手動調節（アイリス、ゲイン、シャッタースピード）も解除されます。

あらかじめ設定した画質で撮る（ピクチャープロファイル）

［ガンマ］や［ディテール］などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。
設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、［PP1］から［PP6］に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ご注意

- （カメラ設定）メニュー→［x.v.Color］が［入］のときは、ピクチャープロファイルは［切］に固定されます。

ピクチャープロファイル番号	撮影条件
PP1	お好みに合わせて登録できます。
PP2	お好みに合わせて登録できます。
PP3	人物撮影向けの設定値
PP4	映画のような映像を撮影するときの設定値
PP5	夕焼けを撮影するときに適した設定値
PP6	モノトーン撮影するときの設定値

1 **スタンバイ中に、PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。**

2 **SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。**

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

3 **SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で［決定］を選んで、押して決定する。**

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順**2**で[切]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤルAを押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できます。

① PICTURE PROFILEボタンBを押す。
② SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して、設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
③ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して[設定変更]を選び、押して決定する。
④ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して調節したい項目を選び、押して決定する。
⑤ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して画質を調節し、押して決定する。
⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節する。
⑦ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して[戻る]を選び、押して決定する。
⑧ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して[決定]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

ガンマ

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[スタンダード]	標準のガンマカーブ。
[シネマトーン1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[シネマトーン2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。

カラーモード

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[タイプ]	発色のタイプを設定する。 [スタンダード]　:標準の色合い。 [シネマトーン1]　:[ガンマ]が[シネマトーン1]のときに適したフィルム調の色合い。 [シネマトーン2]　:[ガンマ]が[シネマトーン2]のときに適したフィルム調の色合い。
[レベル]	[タイプ]を「スタンダード」以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)〜8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

色のこさ

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(薄くなる)〜+7(濃くなる)、-8:白黒で撮影する。

色相

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)〜+7(赤みがかる)

WBシフト

ホワイトバランスシフトを設定する。

設定項目	調節する内容
[LB[色温度]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)〜+9(赤みがかる)
[CC[MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)〜+9(マゼンタがかる)

ディテール

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
	[ディテール]の強さを設定する。 -7～ +7

スキントーンディテール

肌色部分の輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。

設定項目	調節する内容
[入/切]	[入]にすると肌色などの輪郭をなめらかにして、しわを目立たなくする。肌色以外も選択できる。
[レベル]	輪郭をなめらかにする度合いを設定する。 1(輪郭を少しなめらかにする)～8(輪郭をよりなめらかにする)
[色選択]	輪郭をなめらかにする色を選ぶ。 [色相]: 色相を選ぶ。 0(紫)～32(赤)～64(黄)～96(緑)～127(青) [範囲]: 色の範囲を選ぶ。 0(選択色なし)、1(狭い:単色のみ選ぶ)～ 31(広い:色相と彩度の近い他の色も選ぶ) 0の場合、輪郭を滑らかにする効果はなくなる。 [彩度]: 彩度を選ぶ。 0(薄い色を選ぶ)～31(濃い色を選ぶ)

コピー

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

リセット

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

次のページへつづく→

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

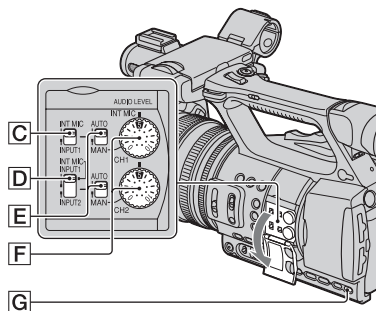
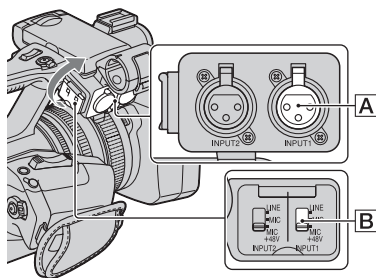
ボタンの位置は30ページをご覧ください。

① PICTURE PROFILE ボタン B を押す。
② SEL/PUSH EXEC ダイヤル A を回してコピー元のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
③ SEL/PUSH EXECダイヤルAで［設定変更］→［コピー］を選ぶ。
④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル A を回してコピー先のピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤル A を回して［はい］を選び、押して決定する。
⑥ SEL/PUSH EXECダイヤルAを回して、［ 戻る］ → ［決定］を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。ボタンの位置は30ページをご覧ください。

① PICTURE PROFILE ボタン B を押す。
② SEL/PUSH EXEC ダイヤル A を回してお買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル A を回して［設定変更］→［リセット］→［はい］→［ 戻る］→［決定］を選ぶ。

音の設定をする

チャンネル設定

① CH1（INT MIC/INPUT1）スイッチ C とCH2（INT MIC/INPUT1/INPUT2）スイッチ D で使用する入力音声を選ぶ。
記録されるチャンネルについては下表をご覧ください。

CH1スイッチが「INT MIC」のとき

CH2の設定	入力状態	
INT MIC	内蔵マイク（L）	⟶ CH1
	内蔵マイク（R）	⟶ CH2*
INPUT1	内蔵マイク（モノラル）	⟶ CH1
	XLR INPUT1	⟶ CH2**
INPUT2	内蔵マイク（モノラル）	⟶ CH1
	XLR INPUT2	⟶ CH2**

CH1スイッチが「INPUT1」のとき

CH2の設定	入力状態	
INT MIC	XLR INPUT1	⟶ CH1
	内蔵マイク（モノラル）	⟶ CH2**
INPUT1	XLR INPUT1	⟶ CH1 ⟶ CH2**
INPUT2	XLR INPUT1	⟶ CH1
	XLR INPUT2	⟶ CH2**

*内蔵マイクのみを使用しているとき、録音レベルは CH1 と CH2 で連動します。CH1 の AUDIO LEVEL ダイヤルと AUTO/MAN スイッチの設定が CH2 にも有効になります。

**CH1 と CH2 の録音レベルを別々に調節できます。

② INPUT1スイッチBをINPUT1端子Aに接続したマイクに適した位置に設定する。

LINE：オーディオ機器の音声を入力するとき

MIC：+48V電源に対応していない外部マイクの音声を入力するとき

MIC+48V：+48V電源対応機器などの音声を入力するとき

INPUT2端子にマイクを接続したときは、INPUT2スイッチをマイクに適した位置に設定してください。

ご注意

- 撮影中にINPUT1/INPUT2スイッチを切り換えると、ノイズが記録されてしまいます。撮影中は操作しないでください。
- INPUT1/INPUT2端子に+48V電源対応機器を接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてから接続してください。機器を外すときも、「MIC」にしてから外してください。
- INPUT1/INPUT2端子に+48V電源に対応していないマイクを接続するときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「MIC」にしてください。「MIC+48V」のままで使用すると、接続したマイクが故障したり、録音された音声に不具合が生じたりすることがあります。

好みの音に設定する

内蔵マイクまたは、INPUT1/INPUT2端子に取り付けたマイクを好みの音量に調節できます。

ちょっと一言

- CH1（INT MIC/INPUT1）スイッチ、CH2（INT MIC/INPUT1/INPUT2）スイッチについては、34ページをご覧ください。

① 調節するチャンネルの AUTO/MAN（CH1/CH2）スイッチ E を「MAN」にする。
画面に ♪M1/2 が表示されます。

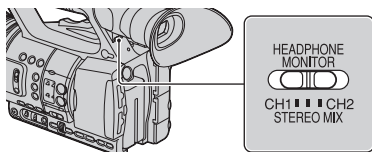
② 撮影中、またはスタインバイ中に AUDIO LEVEL ダイヤル F を回して、マイク音量を調節する。

自動調節に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MAN（CH1/CH2）スイッチEを「AUTO」にする。

ちょっと一言

- 音声設定の詳しい情報を確認するときは、STATUS CHECKボタンGを押してください。
- その他の設定については ♪♪（音声設定）メニューをご覧ください（69ページ）。

ヘッドホンの音声を設定する

ヘッドホンの音声をCH1/CH2で切り換えます。
「STEREO MIX」時の音声については、[ヘッドホン出力]をご覧ください(69ページ)。

SMOOTH SLOW RECを使って撮影する

通常撮影では、見ることができない高速な動作、現象をなめらかなスローモーション映像として撮影します。ゴルフ、テニスのスイングなどの速い動きの撮影時に便利です。

1 MODEボタンを押す。

2 液晶画面上で[撮影]→[SMOOTH SLOW REC]を選択する。

3 記録する画質を選択する。

4 録画ボタンを押す。

約6秒間の録画が、約24秒間のスローモーション映像として記録されます。

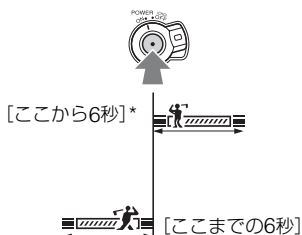
[録画中]が消えると記録が完了します。

解除するには、MODEボタンを押す。

設定を変更するには

MENUボタンを押して変更したい設定を選ぶ。

- HD 録画モード
[SMOOTH SLOW REC]時の録画モードの設定を行います。[1080/60i FX]、[1080/60i FH]、[1080/60i HQ]、[1080/60i LP]から選択できます。

- ［タイミング］
  ［タイミング］を選択すると、録画（ハンドル録画）ボタンを押して記録を開始するタイミングを選択できます。

* お買い上げ時の設定は［ここから 6 秒］です。

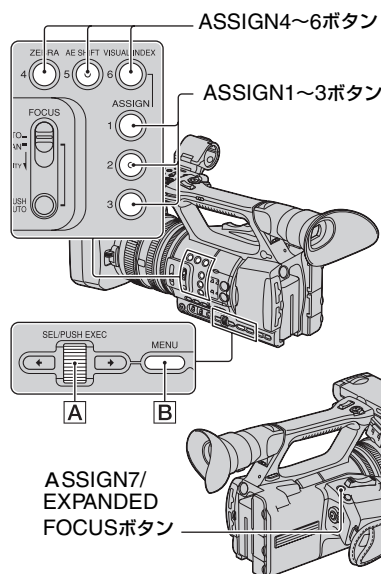
ご注意
- 音声は記録されません。
- シャッタースピードは、［SMOOTH SLOW REC］開始時に1/250秒に設定されます（1/250秒以下には設定できません）。
- 録画時間は撮影条件により短くなることがあります。
- 通常撮影時より画質は劣化します。
- ［SMOOTH SLOW REC］時は、メモリーカードのリレー記録はできません。容量が少ない場合は、記録できるところまでを記録します。
- ［SMOOTH SLOW REC］をした動画に記録される時刻は、撮影した時刻ではなく、スロー映像に変換された際の時刻になります。
- ［SMOOTH SLOW REC］では、プログレッシブ記録ができません。プログレッシブに設定されている場合は、自動的にインターレースに設定が変わります。
- ［HD 録画モード］で録画モードを変更しても、標準画質（SD）の録画モードは変わりません。

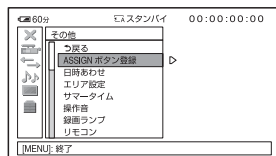
ASSIGN ボタンに機能を設定する

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てて操作することができます。ASSIGN1～7ボタンに1つずつ割り当てられます。

割り当てられる機能

( )内のボタン名は、お買い上げ時に機能が割り当てられていることを示しています。

- EXPANDED FOCUS（26ページ）（ASSIGN7ボタン）
- プッシュオートアイリス（26ページ）
- アイリスリング操作方向（64ページ）
- AEシフト（65ページ）（ASSIGN5ボタン）
- 逆光補正（65ページ）
- スポットライト（65ページ）
- 手ブレ補正（66ページ）
- デジタルエクステンダー（66ページ）
- フェーダー（67ページ）
- カラーバー（67ページ）
- ゼブラ（72ページ）（ASSIGN4ボタン）
- ピーキング（72ページ）
- マーカー（72ページ）
- 録画ランプ（75ページ）
- V. インデックス （40ページ）（ASSIGN6ボタン）
- MODE（51ページ）

1 MENUボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で（その他）メニュー→[ASSIGNボタン登録]を選ぶ。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

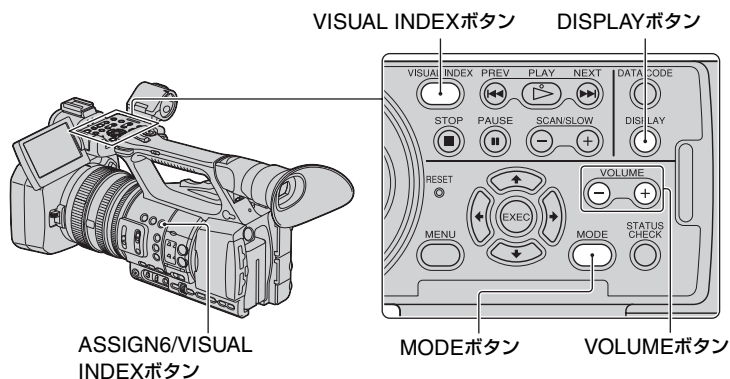
- 機能が割り当てられていないボタンには、[--------]が表示されます。

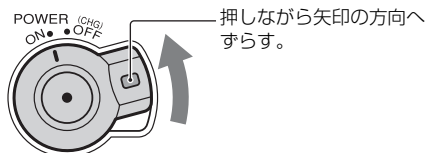
4 SEL/PUSH EXECダイヤルA を回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

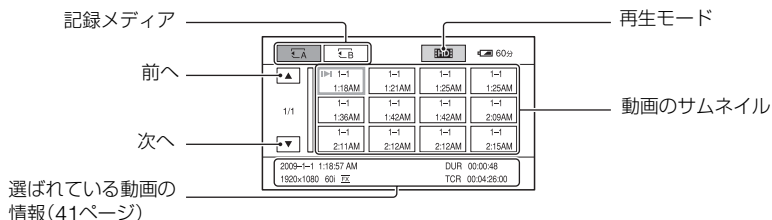
5 SEL/PUSH EXECダイヤルA を回して[決定]を選び、押して決定する。

6 SEL/PUSH EXECダイヤルA を回して[戻る]を選び、押して決定する。

7 MENUボタンBを押して、メニュー画面を消す。

見る

下記の手順で動画を再生します。

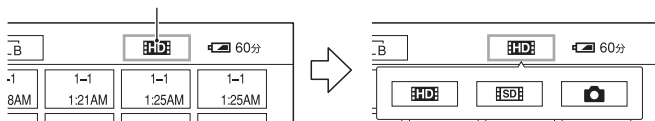
1 POWERスイッチを「ON」にする。

2 VISUAL INDEXボタンを押す。

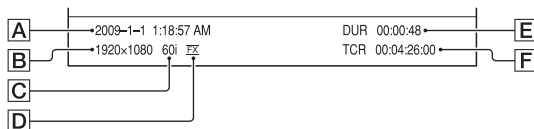
数秒後にビジュアルインデックス画面が表示されます。

ビジュアルインデックス画面は、MODEボタンを押して、液晶画面の［再生］→［V.インデックス］をタッチして表示することもできます。

DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

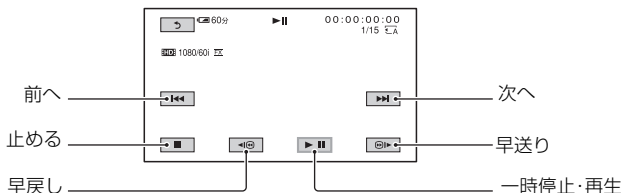
3 動画を再生する。

① 再生したい記録メディアをタッチする。
 A :メモリーカード A
 B :メモリーカード B

② 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。

HD :ハイビジョン画質(HD)
SD :標準画質(SD)

③ 再生したい動画のサムネイルを2度タッチする。
←/↑/→/↓ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXEC ボタンを押すことでも再生できます。
サムネイルを1度タッチすると画面の下部分にタッチした動画の情報が表示されます。

A 撮影開始日時
B 動画の解像度
C フレームレート
D 録画モード
E 動画記録時間
F 記録開始タイムコード
タイムコードが記録されていないメモリーカードや、本機が対応していない方式のタイムコードが記録されたメモリーカードを再生すると、タイムコードが正常に表示されません。

• 最後に再生・撮影した動画にI▶Iが表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

動画の再生が始まります。

ご注意
- 他機で撮影した画像は再生できない場合があります。
- サムネイルに1度タッチして、PLAYボタンを押すと最後に記録した場面または最後に再生した場面が再生されます。

ちょっと一言
- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、ビジュアルインデックス画面に戻ります。
- 一時停止中に ◀I / I▶ をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中、◀I / I▶ をタッチする回数によって、約5倍速→約10倍速→約30倍速→約60倍速で再生されます。
- ビジュアルインデックス画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。
- 再生中は、本機のPREV/PLAY/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOWボタンを使って操作ができます。

音量を調節するには

VOLUMEボタンで調節する。

撮影モードに戻すには

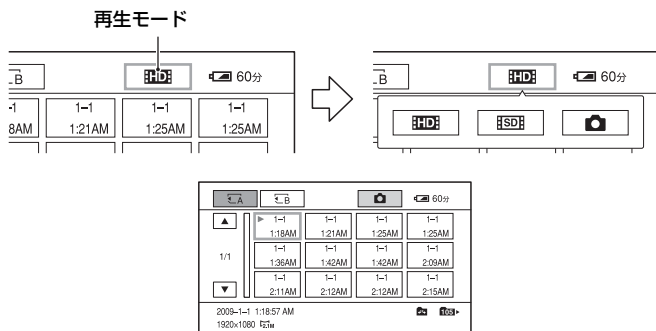
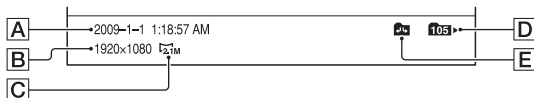
VISUAL INDEXボタンを押す。

静止画を見る

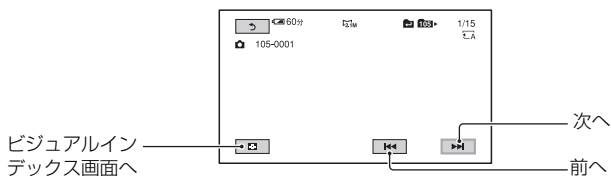
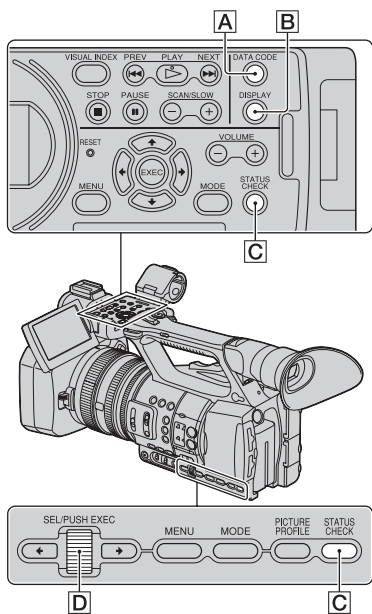
静止画は、本機で撮影した動画から作成します（54ページ）。

静止画を再生する。

① 再生したい記録メディアをタッチする。
 A ：メモリーカード A
 B ：メモリーカード B

② 再生モードで、（静止画）を選ぶ。

③ 再生したい静止画のサムネイルを 2 度タッチする。
1 度タッチすると画面の下部分にタッチした静止画の情報が表示されます。

A 記録開始日時
B 縦横解像度
C 画サイズ
D 再生フォルダー
E 再生フォルダーエッジ
再生フォルダーの最初または最後のページのときに表示されます。
再生フォルダーが 1 つしかない場合は表示されません。

- 最後に再生した静止画に▶が表示されます。

静止画が再生されます。

本機の設定を変更 / 確認する

画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタンBを押す。

押すたびに、非表示←→表示と切り替わります。撮影モードのときは、詳細表示→簡易表示→非表示の順に切り替わります。

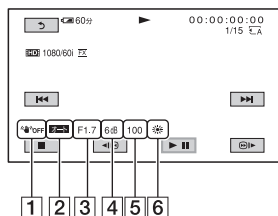
ちょっと一言

- テレビにつないで見るときは、[画面表示出力]を[全出力]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます（74ページ）。

再生時に情報を表示する（データコード）

撮影時に自動的に記録された情報（日時やカメラデータ）を再生時に表示できます。

再生または一時停止中にDATA CODEボタンAを押す。

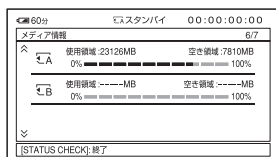
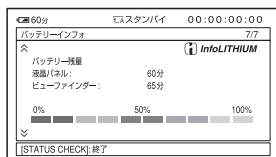
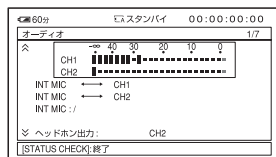
押すたびに、日付時刻表示→カメラデータ→表示なしと切り替わります。

1 手ブレ補正
2 明るさ調節
アイリス / ゲイン / シャッタースピードを自動調節で撮影すると オート 、手動調節で撮影すると マニュアル と表示されます。
3 アイリス
手動でアイリスを最大にしておくと、アイリスの場所に クローズ と表示されます。
4 ゲイン
5 シャッタースピード
6 ホワイトバランス

ご注意

- 静止画再生時は、露出補正値（EV）とシャッタースピード、アイリス、フラッシュの有無が表示されます。
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

- マイク音量レベルなどの音声設定(69ページ)
- 出力に関する設定([ビデオ出力](68ページ)など)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(38ページ)
- カメラに関する設定(64ページ)
- メモリーカード情報
  使用領域と空き領域の目安を確認できます。

- バッテリーインフォ
  装着しているバッテリー残量を確認できます。

1 STATUS CHECKボタン[C]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[D]を回して、項目を表示する。

オーディオ→出力→ASSIGN→カメラ→メディア情報→バッテリーインフォと切り替わります。

起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには

STATUS CHECKボタン[C]を押す。

テレビにつないで見る

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。
電源は、別売りのACアダプター/チャージャーを使ってコンセントからとってください（13ページ）。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。

ハイビジョンテレビの接続方法

ご注意

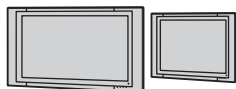
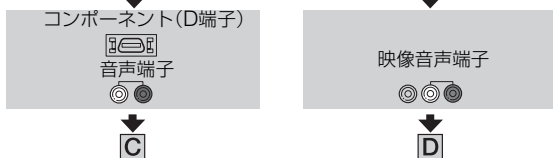
- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはA/V接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。

：信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
B	③	HDMIケーブル（別売）	HDMI入力	（録画/出力設定）メニュー→［ビデオ出力］→［HDMI出力］→［オート］（お買い上げ時の設定）（68ページ）

ご注意

- **HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。**
- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士を接続しないでください。故障の原因となります。
- 本機はブラビアリンクに対応しておりません。

ワイドテレビ/4:3テレビの接続方法

テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

お使いになるテレビの比率に合わせて、(録画/出力設定)メニュー→[ビデオ出力]→[TVタイプ]で設定してください(69ページ)。

ちょっと一言

- モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときはA/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつないでください。モノラル音声で聞くときは、市販の接続ケーブルを使ってください。

:信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
C	①	A/V接続ケーブル(付属)	(白) (赤) (音声)	(録画/出力設定)メニュー→[ビデオ出力]→[コンポーネント出力]→[480i](69ページ) [ビデオ出力]→[TVタイプ]→[16:9]/[4:3]*(69ページ)
	②	D端子コンポーネントビデオケーブル(付属)	コンポーネント映像入力(D1)	

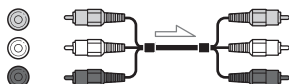
ご注意

- コンポーネントプラグ(D端子)のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはA/V接続ケーブル(付属)の白と赤のプラグも接続してください。

撮る/見る

次のページへつづく→

:信号の流れ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
D	①	A/V接続ケーブル(付属)	(黄)(映像) (白)(赤)(音声)	(他の端子が接続されていないこと) (録画/出力設定)メニュー→[ビデオ出力]→[TVタイプ]→[16:9]/[4:3]*(69ページ)

* お使いのテレビに合わせて設定してください。

ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって[ビデオ出力](68ページ)で接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り換えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

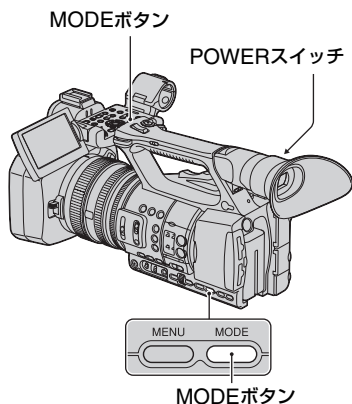
ご注意

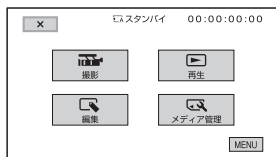
- A/V接続ケーブルを使って映像を出力すると、出力される画質は標準画質(SD)になります。
- [録画フォーマット]のフレームレートが24pまたは30pのときは、プルダウン方式でインターレース信号に変換して出力されます。

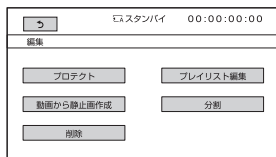
ちょっと一言

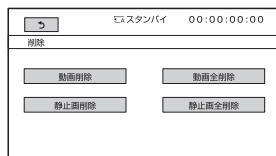
- 出力信号の解像度は[ビデオ出力]の設定によります。詳しくは68ページをご覧ください。
- 画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいる場合は、テレビの入力がHDMI→コンポーネント→映像端子の順で優先されます。
- HDMI(High Definition Multimedia Interface)とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

モードの使いかた

本機で撮影した動画から静止画を作成したり、保護、削除などの編集ができます。

1 POWERスイッチを「ON」にする。

2 MODEボタンを押す。

3 希望のカテゴリーをタッチする。

（例）編集カテゴリーのとき

4 希望の項目をタッチする。

（例）削除のとき

5 画面の表示に従って操作する。

MODEメニュー画面を消すには

[×]をタッチする。または、MODEボタンを押す。

前の画面に戻るには

⮌ をタッチする。

記録した画像を保護する（プロテクト）

誤って動画・静止画を削除してしまうことを防げます。

ちょっと一言
- 動画・静止画のビジュアルインデックス画面や再生画面からMENUボタンを押して、プロテクトすることもできます。

1 MODEボタンを押す。

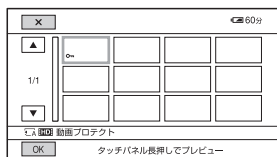
2 [編集]→[プロテクト]をタッチする。

3 動画をプロテクトするときは[動画プロテクト]→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。

静止画をプロテクトするときは[静止画プロテクト]→希望のメモリーカードを選ぶ。

4 プロテクトする動画・静止画をタッチする。

画像にO┳マークが表示されます。

60分
1/1
動画プロテクト
OK
タッチパネル長押しでプレビュー

ちょっと一言
- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。⮌で選択画面に戻ります。
- 1度に100個までの画像を選べます。

5 OK→[はい]→OKをタッチする。

プロテクトを解除するには

手順**4**でO┳マークがついている動画・静止画をタッチする。

O┳マークが消えます。

動画のプレイリストを使う

「プレイリスト」とは、オリジナルの動画の中から、好みのものを選んで作成したリストのことです。
プレイリストに追加した動画を編集しても、オリジナルの動画には影響ありません。

プレイリストを作る

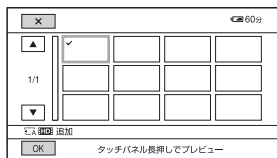
ご注意

- ハイビジョン画質（HD）と標準画質（SD）の動画は、それぞれ別のプレイリストに追加されます。

1 MODEボタンを押す。

2 [編集]→[プレイリスト編集]→[追加]→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。

3 追加したい動画をタッチする。

画像に✔マークが表示されます。

ちょっと一言

- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。⮌ で選択画面に戻ります。

4 OK→[はい]→OKをタッチする。

ご注意

- 追加中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、追加対象のメモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 静止画はプレイリストに追加できません。

ちょっと一言

- プレイリストにはハイビジョン画質（HD）で999個、標準画質（SD）で99個までの動画を追加できます。
- 動画のビジュアルインデックス画面や再生画面、プレイリスト画面からMENUボタンを押して追加することもできます。

プレイリストを再生する

1 MODEボタンを押す。

2 [再生]→[プレイリスト]→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。

プレイリストに追加された動画が表示されます。

3 再生したい動画をタッチする。

選んだ動画からプレイリストの最後まで再生され、プレイリスト画面に戻ります。

追加した動画をプレイリストから消去するには

① MODE ボタンを押す。

② [編集]→[プレイリスト編集]→[消去]→希望のメモリーカードと画質をタッチする。

- すべての動画を一括して削除するには、[編集]→[プレイリスト編集]→[全消去]→希望のメディアと画質をタッチする。

③ プレイリストから消去したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。

次のページへつづく→

💡ちょっと一言
- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。⮌ で選択画面に戻ります。

④ [OK]→[はい]→[OK]をタッチする。

💡ちょっと一言
- プレイリストに追加した動画を消去しても、オリジナルの動画は消去されません。
- プレイリスト画面やプレイリスト再生画面からMENUボタンを押して消去することもできます。

追加した動画を並び換えるには

① MODE ボタンを押す。

② [編集]→[プレイリスト編集]→[移動]→希望のメモリーカードと画質をタッチする。

③ 移動したい動画をタッチする。

選んだ動画に✔が表示されます。

💡ちょっと一言
- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。⮌ で選択画面に戻ります。

④ [OK]をタッチする。

⑤ ←/→ で移動先を選ぶ。

⑥ [OK]→[はい]→[OK]をタッチする。

💡ちょっと一言
- 複数の動画を選んだ場合は、プレイリストで並んでいた順番で移動します。
- プレイリスト画面からMENUボタンを押して並び換えることもできます。

動画から静止画を作成する

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。

1 MODEボタンを押す。

2 [編集]→[動画から静止画作成]→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。

3 静止画を切り出したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 静止画にしたい場面で ▶II をタッチする。

再生が一時停止します。
▶II を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

▶II で場面を決定してから、
◀II/II▶ で微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

5 [OK]をタッチする。

静止画は、選択されている動画のメモリーカードに記録されます。静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

- 続けて静止画を作成するには、▶II をタッチしてから、手順**4**以降を行う。

- 別の動画を選ぶには、↩ をタッチして手順**3**から行う。メモリーカードと画質を変える場合は、はじめから操作してください。

6 ↩ → [×] をタッチする。

ご注意

- 静止画の画像サイズは、動画の種類によって次のとおりに固定されます。
  - ハイビジョン画質（HD）のときは［2.1M］
  - 標準画質（SD）でワイド（16:9）のときは［0.2M］
  - 標準画質（SD）で4:3のときは［VGA（0.3M）］
- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。
- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

動画を分割する

指定した場面で動画を分割できます。

1 MODEボタンを押す。

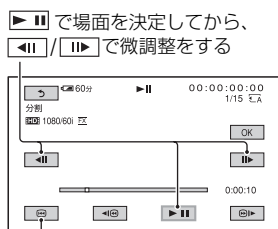
2 ［編集］→［分割］→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。

3 分割したい動画をタッチする。

選んだ動画が再生されます。

4 分割したい場面で [▶ ❚❚] をタッチする。

再生が一時停止します。
[▶ ❚❚] を押すたびに、再生と一時停止が切り替わります。

[▶ ❚❚] で場面を決定してから、[◀❚❚]/[❚❚▶] で微調整をする

選んだ動画の先頭に戻る

5 [OK] →［はい］→ [OK] をタッチする。

ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、分割対象のメモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、[▶ ❚❚] で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じることがあります。

次のページへつづく→

- オリジナルの動画を分割するとプレイリストに追加した動画も分割されます。

ちょっと一言

- 動画のビジュアルインデックス画面や再生画面からMENUボタンを押して分割することもできます。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター/チャージャー、削除対象のメモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください（52ページ）。
- 削除した動画がプレイリスト（53ページ）に追加されている場合は、プレイリストに追加した動画も削除されます。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください（76、78ページ）。

ちょっと一言

- 1度に100個までの画像を選べます。
- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します（57ページ）。

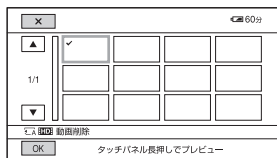
1 **MODEボタンを押す。**

2 **［編集］→［削除］をタッチする。**

3 **動画を削除するときは［動画削除］→希望のメモリーカードと画質を選ぶ。**

静止画を削除するときは［静止画削除］→希望のメモリーカードを選ぶ。

4 **削除する動画・静止画をタッチする。**

画像に✔マークが表示されます。

ちょっと一言
- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。で選択画面に戻ります。

5 OK→[はい]→OKをタッチする。

動画・静止画をすべて削除するには

手順**3**で[動画全削除]→希望のメモリーカードと画質→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

- 静止画をすべて削除するときは[静止画全削除]→希望のメモリーカード→[はい]→[はい]→OKをタッチする。

ご注意
- プロテクトされている動画・静止画は削除されずに残ります。

ちょっと一言
- 動画・静止画のビジュアルインデックス画面や再生画面からMENUボタンを押して削除することもできます。

メモリーカードを初期化する

初期化とはメモリーカード内のデータをすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

ご注意
- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像は保存してから（76、78ページ）、[メディア初期化]してください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 MODEボタンを押す。

2 [メディア管理]→[メディア初期化]をタッチする。

3 初期化するメモリーカードをタッチする。

4 [はい]→[はい]→OKをタッチする。

ご注意
- [実行中]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプター/チャージャーを取り外したりしないでください。（初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。）

メモリーカード上のデータを復元しにくくする

メモリーカードに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化では削除できないデータが残るので、メモリーカードを廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐためメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存（76、78ページ）してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター/チャージャー以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプター/チャージャーを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 ACアダプター/チャージャーを使って電源をコンセントから取る（13ページ）。

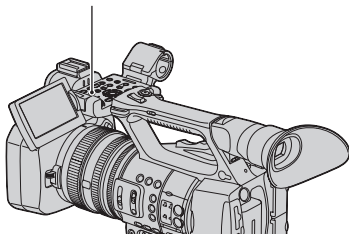
2 電源スイッチを「ON」にする。

3 MODEボタンを押す。

4 ［メディア管理］→［メディア初期化］をタッチする。

5 初期化するメモリーカードをタッチする。

初期化の画面が表示されます。

6 STOPボタンを3秒以上長押しする。

データ消去の画面が表示されます。

7 ［はい］→［はい］→ OK をタッチする。

ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶画面上でご確認ください。
- ［実行中］が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、［メディア初期化］またはデータ消去を実行して完了させてください。

管理ファイルを修復する

管理情報とメモリーカードの動画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MODEボタンを押す。

2 [メディア管理]→[管理ファイル修復]をタッチする。

3 管理ファイルを確認するメモリーカードをタッチする。

4 [はい]をタッチする。

不整合が見つからなかった場合は、OKをタッチして終了してください。

5 [はい]をタッチする。

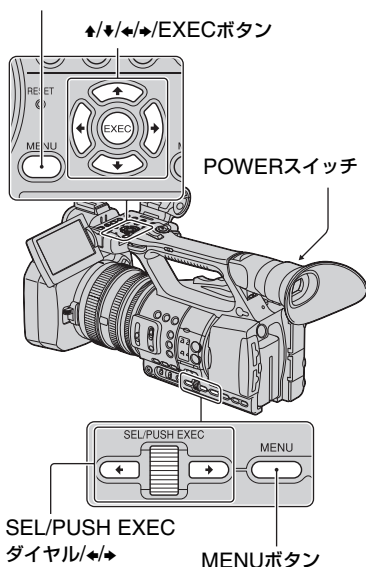
[完了しました]と表示されたらOKをタッチする。

ご注意

- [管理ファイル修復中]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復する必要があります。

メニューの使いかた

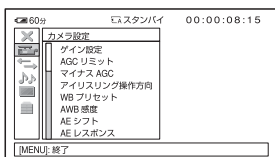
画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

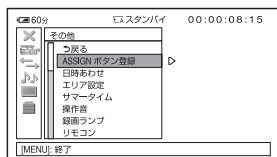
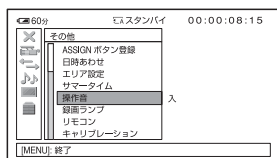
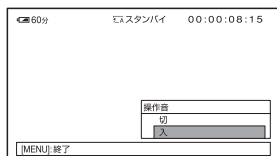
MENUボタン

💡ちょっと一言

- ←/→ボタンを使って、メニュー項目を選ぶこともできます。

1 POWERスイッチを「ON」にする。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューのマークを選び、押して決定する。

カメラ設定（64ページ）
録画/出力設定（68ページ）
音声設定（69ページ）
表示設定（72ページ）
その他（75ページ）

4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。

6 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

［⮌ 戻る］を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。

メニュー一覧

● フォーマット切換やMODEによる機能実行、電源のOFFでお買い上げ時の設定に戻る機能です。

ASSIGN ASSIGNボタンに割り当てて使える機能です。

（カメラ設定）メニュー（64ページ）

項目	●	ASSIGN
ゲイン設定		
AGCリミット		
マイナスAGC		
アイリスリング操作方向		ASSIGN
WBプリセット		
AWB感度		
AEシフト		ASSIGN
AEレスポンス		
オートアイリスリミット		
フリッカー低減		
逆光補正		ASSIGN
スポットライト		ASSIGN
手ブレ補正		ASSIGN
AFアシスト		
ハンドルズームスピード		
デジタルエクステンダー	●	ASSIGN
フェーダー	●	ASSIGN
x.v.Color		
カラーバー	●	ASSIGN

（録画/出力設定）メニュー（68ページ）

- 録画フォーマット
- HSDワイド記録
- ビデオ出力

（音声設定）メニュー（69ページ）

- 音声リミッター
- ヘッドホン出力
- INT MIC設定
- XLR設定

（表示設定）メニュー（72ページ）

項目	ASSIGN
ゼブラ	ASSIGN
ピーキング	ASSIGN
マーカー	ASSIGN
EXPANDED FOCUS タイプ	
カメラデータ表示	
音声レベル表示	
パネル明るさ	
パネル色のこさ	
パネルバックライトレベル	
VFバックライト	
VF点灯モード	
残量表示	
画面表示出力	

（その他）メニュー（75ページ）

項目	ASSIGN
ASSIGNボタン登録	
日時あわせ	
エリア設定	
サマータイム	
操作音	
録画ランプ	ASSIGN
リモコン	
キャリブレーション	

(SMOOTH SLOW REC設定)メニュー(36ページ)

HD 録画モード

タイミング

(編集)メニュー(52、53、55、56ページ)

プロテクト

プレイリストへ追加

分割

削除

全削除

(プレイリスト編集)メニュー(53ページ)

追加

移動

消去

全消去

(カメラ設定)メニュー

撮影状況に合わせるための設定(ゲイン設定/逆光補正/手ブレ補正など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、(カメラ設定)を選択すると表示されます。

ゲイン設定

GAINスイッチ「H」「M」「L」の値を設定するときに選びます(お買い上げ時の設定は、[H]:18dB、[M]:9dB、[L]:0dB)。

① SEL/PUSH EXECダイヤルで[H][M][L]のいずれかを選ぶ。
② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの設定値を選び、押して決定する。
-6dB～21dBの間で、3dB間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
③ SEL/PUSH EXECダイヤルで[決定]を選ぶ。
④ MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

AGCリミット

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を[切](21dB、お買い上げ時の設定)、[18dB]、[15dB]、[12dB]、[9dB]、[6dB]、[3dB]、[0dB]から選べます。

ご注意
- ゲインを手動調節していると効果はありません。

マイナスAGC

[入]に設定すると、ゲインの自動調節領域をマイナス領域まで広げることができます。特に、充分な光量が得られるときは、ゲインをマイナス領域まで変動させることで、より適切にゲイン設定を行うことができ、よりノイズの少ない映像を撮影することができます。[マイナスAGC]を[入]にしても本機のダイナミックレンジが狭くなることはありません。

▶入
ゲインを自動調節しているときに、状況に応じて-3dBまで動く。

切
ゲインを自動調節しているときに、マイナスゲインにならない。

アイリスリング操作方向

アイリスリングの操作方向を選びます。

▶ノーマル
リングを時計回りに回すと暗くなる。

逆方向
リングを反時計回りに回すと暗くなる。

ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(38ページ)。

WBプリセット

プリセットホワイトバランスを使うときに選びます。詳しくは29ページをご覧ください。

AWB感度

白熱電球やろうそくなど赤みの強い光源下や、屋外の日陰など青みの強い光源下でのオートホワイトバランスの動作を設定できます。

▶インテリジェント
シーンの明るさに応じて自然な雰囲気になるように自動調節する。

高
赤みや青みが減る。

中

低
赤みや青みが増す。

ご注意
- ホワイトバランスが自動調節されているときのみ有効です。
- 晴天時の日向では効果がありません。

AEシフト

■ 入/切
AEシフトの入/切を設定します。
[入]に設定すると、AS と設定した数値が表示されます。

■ レベル
SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを[-7](暗い)～[0](標準)～[+7](明るい)の範囲で調節できます(お買い上げ時の設定は[0])。

ご注意
- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

ちょっと一言
- [入/切]をASSIGNボタンに割り当てることができます(38ページ)。

AEレスポンス

被写体の明るさに追従して露出を自動調整する速度を選びます。[高速]、[中速]、[低速]から選びます(お買い上げ時の設定は[高速])。

オートアイリスリミット

アイリス設定が自動のとき、絞りの上限値を[F11](お買い上げ時の設定)、[F9.6]、[F8]、[F6.8]、[F5.6]、[F4.8]、[F4]から選びます。

ご注意
- アイリスを手動調節していると効果はありません。

フリッカー低減

▶入
通常の撮影時に選ぶ。
電源周波数が50Hzの蛍光灯などの光源下で画面のちらつきを軽減します。

切
フリッカー低減を行わない。

ご注意
- 照明によっては低減効果が現れないことがあります。

逆光補正

[入]に設定すると、が表示されて逆光補正されます(お買い上げ時の設定は[切])。

ご注意
- 逆光補正中に[スポットライト]を[入]にすると[逆光補正]は[切]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つを手動で設定していると、[逆光補正]は[切]になります。

ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(38ページ)。

スポットライト

[入]( )に設定すると、舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防げます(お買い上げ時の設定は[切])。

ご注意
- スポットライト中に[逆光補正]を[入]に設定すると、[スポットライト]は[切]になります。
- アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つを手動で設定していると、[スポットライト]は[切]になります。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、（カメラ設定）を選択すると表示されます。

ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます（38ページ）。

手ブレ補正

■ 設定

▶手ブレ補正
手ブレ補正の設定を有効にする。

アクティブ手ブレ補正（ACT）
より強い手ブレ補正効果が得られます。

切
三脚（別売）を利用するときは、［切］（OFF）にすると自然な画像になります。

■ 手ブレ補正タイプ
撮影状況に合わせて手ブレ補正の効果を選ぶことができます。

ハード
強めに手ブレ補正を働かせる。
パン・ティルト撮影には向きません。

▶スタンダード
通常の手ブレ補正を使う。

ソフト
自然な手ブレ感を残しつつ、手ブレ補正を働かせる。

ワイドコンバージョン
ワイドコンバージョンレンズ（別売）を使って撮影する。
ソニー製のワイドコンバージョンレンズ（別売）を使うときに最適な設定です。

■ アクティブ手ブレ補正タイプ
撮影状況に合わせてより強い手ブレ補正の効果が得られます。

▶スタンダード
歩きながらや移動しながらの撮影など、より強い手ブレに対する補正効果が得られます。

ワイドコンバージョン
アクティブ手ブレ補正モードでワイドコンバージョンレンズ（別売）を使って撮影する際の設定です。
ソニー製のワイドコンバージョンレンズ（別売）を使うときに最適な設定になっています。

ご注意
- ［アクティブ手ブレ補正］時は、画角がわずかに望遠側に寄り、解像度が劣化します。

ちょっと一言
- ［設定］をASSIGNボタンに割り当てることができます（38ページ）。

AFアシスト

［入］に設定すると、オートフォーカスのとき、フォーカスリングを回して一時的に手動でピントを合わせることができます（お買い上げ時の設定は［切］）。

ご注意
- FOCUSスイッチが「AUTO」のときに有効です（25ページ）。

ハンドルズームスピード

ハンドルズーム切り換えスイッチが「FIX」のとき、ズームスピードを［1］（遅い）～［8］（速い）から選べます（お買い上げ時の設定は［3］）。

デジタルエクステンダー

［入］（DIG.EXT）に設定すると、約1.5倍に画像を拡大表示します。デジタル処理のため画質は劣化します。野鳥などの遠方の被写体を拡大するときに便利です（お買い上げ時の設定は［切］）。

ご注意
- フォーマットを切り換えたり、MODEによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に［切］（お買い上げ時の設定）に戻ります。

💡ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます
  （38ページ）。

フェーダー

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮りできます。

① スタンバイ中（フェードインのとき）または録画中（フェードアウトのとき）に使いたい効果を選ぶ。
② 録画ボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消えます。

操作開始前に解除するには①で［切］を選びます。
1度録画ボタンを押すと、設定は解除されます。

ホワイトフェーダー

ブラックフェーダー

ⓘご注意
- フォーマットを切り換えたり、MODEによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に［切］（お買い上げ時の設定）に戻ります。
- メモリーカードの残量が1分未満になると、［フェーダー］を設定できません。

💡ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます
  （38ページ）。

x.v.Color

［入］（COLOR）に設定して撮影すると、より広い色域で記録できます（お買い上げ時の設定は［切］）。鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを再現することが可能になります。

ⓘご注意
- ［入］にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき［x.v.Color］は設定できません。
  - 標準画質（SD）に設定しているとき
  - 動画を撮影中
- ［x.v.Color］が［入］のとき、ピクチャープロファイルは無効になります。

カラーバー

■ 入/切

［入］に設定するとカラーバーを表示したり、記録したりすることができます。本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です（お買い上げ時の設定は［切］）。

ⓘご注意
- 本機の電源を入れ直すと自動的に［切］になります。
- ［カラーバー］の設定は、録画中、フェーダー設定中、拡大フォーカス中は変更することができません。

次のページへつづく➡

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (カメラ設定)を選択すると表示されます。

■ タイプ

カラーバーのタイプを選べます。

タイプ1

タイプ2

タイプ3

タイプ4
(タイプ3に対して輝度75%)

ちょっと一言

- [入/切]をASSIGNボタンに割り当てることができます(38ページ)。

(録画/出力設定)メニュー

録画、入出力に関する設定(録画フォーマット/ビデオ出力など)

▶は、お買い上げ時の設定。
( )内の表示が画面に出ます。
操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (録画/出力設定)を選択すると表示されます。

録画フォーマット

23ページをご覧ください。

[SD]ワイド記録

つなぐテレビの画面の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶入
ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

切(4:3)
4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[TVタイプ]を正しく設定してください。
- ハイビジョン画質(HD)で録画する場合は、画像サイズは16:9に固定され、4:3にできません。

ビデオ出力

■ HDMI出力

HDMI OUT端子からの出力信号の解像度を選びます。

▶オート

720p/480i

1080i/480i

480p

480i

■ コンポーネント出力

COMPONENT OUT端子からの出力信号の解像度を選びます。

720p/480i

▶1080i/480i

480i

■ TVタイプ

テレビで見るときに、使用するテレビにあわせて信号の変換が必要です。撮影した画像は下記のように再生されます。

▶16:9

ワイドテレビで再生するときに選ぶ。

16:9画像

4:3

4:3テレビで再生するときに選ぶ。

16:9画像　　4:3画像

ご注意

- [HSDワイド記録]を[入]にして標準画質（SD）で撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのままで、水平方向を圧縮して再生します。
- ID-1対応テレビにつないで再生する場合、[TVタイプ]を[16:9]に設定してください。テレビが自動的に再生画像の比率に切り替わります。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

♪（音声設定）メニュー

録音に関する設定（音声リミッター/XLR設定など）

▶は、お買い上げ時の設定。

（　）内の表示が画面に出ます。

操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、♪（音声設定）を選択すると表示されます。

音声リミッター

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をします。

▶切

機能を使わないときに選ぶ。

入

機能を使うときに選ぶ。

ご注意

- AUTO/MAN（CH1/CH2）スイッチが「MAN」のときのみ有効です。

ヘッドホン出力

HEADPHONE MONITORスイッチが「STEREO MIX」のときのヘッドフォンに出力する方式を設定します。

▶ステレオ

ステレオで出力する。

モノラル

モノラルで出力する。

INT MIC設定

■ INT MIC 感度

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶標準

業務用機器で一般的に使われる感度。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、♪(音声設定)を選択すると表示されます。

高感度
民生用機器で一般的に使われる感度。
ステータスチェック画面に SENS-Hi が表示されます。

■ INT MIC 風音低減

切
内蔵マイクの風音低減をしないときに選ぶ。

▶入
内蔵マイクの風音低減をするときに選ぶ。
ステータスチェック画面に が表示されます。

XLR設定

■ XLR AGC連動

外部マイク(別売)使用時のCH1/CH2のAGC(Auto Gain Control)の連動/非連動を切り換えます。

▶非連動
AGC非連動にする(CH1/CH2を別々の音声として記録する)。

連動(♪A1/2])
AGC連動にする(CH1/CH2をステレオのように1組の音声として記録する)。
ステータスチェック画面にA[表示が出ます。

ご注意
- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(35ページ)。

■ 音声マニュアルゲイン

外部マイク(別売)使用時のCH1/CH2のオーディオレベルの連動/非連動を切り換えます。

▶非連動
オーディオレベル非連動にする(CH1/CH2を別々の音声として記録する)。

連動(♪M1/2])
オーディオレベル連動にする(CH1/CH2をステレオのように1組の音声として記録する)。
ステータスチェック画面にM[表示が出ます。

ご注意
- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「MAN」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときに有効です(35ページ)。
- [連動]設定時は、CH1のAUDIO LEVELダイヤルで音量調節できます(35ページ)。

■ INPUT1 トリム

INPUT1端子から録音するときに、入力信号のレベルを調節します。
[-18dB]、[-12dB]、[-6dB]、[0dB]、[+6dB]、[+12dB]から選びます(お買い上げ時の設定は[0dB])。

ご注意
- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 風音低減

▶切
INPUT1端子の風音低減をしない。

入
INPUT1端子の風音低減をする。
ステータスチェック画面に が表示されます。

ご注意
- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 トリム

■ INPUT2 風音低減

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

ちょっと一言
- 本機は-48dBuを0dBとして設計しています。

- 別売のマイクをお使いのときは、INPUT トリムを[0dB]に設定してください。
- INPUT トリム機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- 大音量で音がひずむ場合、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT トリム機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- INPUT トリムをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- 使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめテストをしてご使用ください。

（表示設定）メニュー

画面/ファインダーの表示設定（マーカー/VFバックライト/画面表示出力など）

▶は、お買い上げ時の設定。
（　）内の表示が画面に出ます。
操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、（表示設定）を選択すると表示されます。

ゼブラ

明るさ調整をするときの目安にすると便利です。

■ 入/切

［入］にすると、 とレベルが表示されます。
記録した画像にゼブラは記録されません（お買い上げ時の設定は［切］）。

■ レベル

輝度レベルを70～100または100+から選べます（お買い上げ時の設定は［70］）。

ちょっと一言
- ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- ［入/切］をASSIGNボタンに割り当てることができます（38ページ）。

ピーキング

■ 入/切

［入］に設定すると**ピーキング**が現れ、画面上に画像の輪郭が強調して表示されるので、ピントが合わせやすくなります（お買い上げ時の設定は［切］）。

■ 色

ピーキングの色を［白］、［赤］、［黄］から選べます（お買い上げ時の設定は［白］）。

■ レベル

ピーキング感度を［高］、［中］、［低］から選べます（お買い上げ時の設定は［中］）。

ご注意
- 輪郭強調された画像はメモリーカードに記録されません。

ちょっと一言
- 拡大フォーカス（26ページ）と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- ［入/切］をASSIGNボタンに割り当てることができます（38ページ）。

マーカー

■ 入/切

［入］にするとマーカーが表示されます（お買い上げ時の設定は［切］）。
マーカーはメモリーカードに記録されません。

■ センター

［入］にすると画面の中心にマーカーを表示する（お買い上げ時の設定は［入］）。

■ ガイドフレーム

［入］に設定すると、フレームを表示して被写体が水平/垂直になっているかを確認できる（お買い上げ時の設定は［切］）。

ご注意
- マーカー表示中は、［画面表示出力］の設定を［全出力］にしていても、タイムコード以外は何も出力されません。
- 以下のとき、マーカーを表示できません。
  – 拡大フォーカス
  – ［SMOOTH SLOW REC］中
  – 電源入時の日時表示
- マーカー表示は、LCDパネルとファインダーのみに表示されます（外部に出力することはできません）。

ちょっと一言
- すべてのマーカーを同時に表示できます。

- ［ガイドフレーム］の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
- ［入/切］をASSIGNボタンに割り当てることができます（38ページ）。

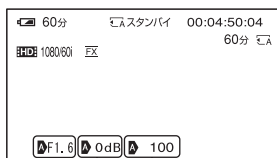
EXPANDED FOCUSタイプ

拡大フォーカスの表示方法を設定できます。

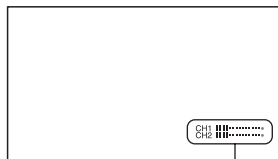
▶ **タイプ1**
画像をそのまま拡大する。

タイプ2
画像を白黒にして拡大する。

カメラデータ表示

［入］にするとアイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示します（お買い上げ時の設定は［切］）。

ちょっと一言
- カメラデータ表示の設定に関わらず、マニュアル設定時は設定値が表示されます。
- A は自動設定されていることを示します。
- DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります（44ページ）。

音声レベル表示

画面にオーディオレベルメーターが表示されます（お買い上げ時の設定は［入］）。

パネル明るさ

液晶画面の明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

ちょっと一言
- 液晶画面バックライトを消すこともできます（15ページ）。

パネル色のこさ

液晶画面の濃さを調節できます。録画される画像に影響はありません。

パネルバックライトレベル

液晶画面バックライトの明るさを調節できます。

▶ **ノーマル**
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
画面が暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に［明るい］になります。
- ［明るい］を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、[icon]（表示設定）を選択すると表示されます。

VFバックライト

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ノーマル
通常の設定（標準の明るさ）。

明るい
ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

ご注意
- コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[明るい]になります。
- [明るい]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

VF点灯モード

▶オート
液晶画面を閉じたときと対面撮影時に、ファインダーが点灯する。

入[常時]
常にファインダーが点灯する。

残量表示

オート
動画撮影モードや、[SMOOTH SLOW REC]へ切り換えたときに、記録可能な動画残量表示をする。動画残量が5分以上ある場合、8秒後に非表示になる。

▶入
記録可能な動画残量を常に表示する。

画面表示出力

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶パネル
ファインダーと液晶画面に出力する。

全出力
ファインダー、HDMI出力、コンポーネント出力、映像音声出力と液晶画面に出力する。

ご注意
- [マーカー]が[入]で、画面に表示されているときは、タイムコード以外は何も出力されません。

(その他)メニュー

撮影時の設定や、各種基本設定(エリア設定/操作音など)

▶は、お買い上げ時の設定。
(　)内の表示が画面に出ます。
操作方法は60ページをご覧ください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、(その他)を選択すると表示されます。

ASSIGNボタン登録

38ページをご覧ください。

日時あわせ

17ページをご覧ください。

エリア設定

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わすことができます。

サマータイム

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[サマータイム]を[入]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶切
サマータイムを設定しない。

入
サマータイムを設定する。

操作音

切
操作音を出さない。

▶入
撮影スタート/ストップ時の操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

録画ランプ

[切]に設定すると、録画ランプが点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[入])。

ちょっと一言
- ASSIGNボタンに割り当てることができます(38ページ)。

リモコン

[入]に設定すると、付属のワイヤレスリモコン(111ページ)が使えます(お買い上げ時の設定は[入])。

ちょっと一言
- [切]に設定すると、他機のリモコンによる誤動作を防げます。

キャリブレーション

99ページをご覧ください。

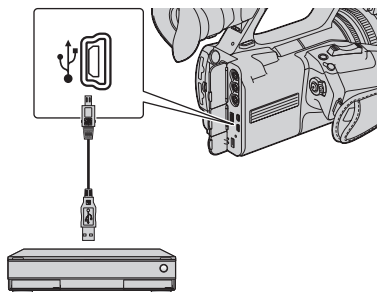
レコーダーを使ってディスクを作る

ハイビジョン画質(HD)のディスクを作る(USBケーブル接続)

本機とソニー製ブルーレイディスクレコーダーなどのディスク作成機器をUSBケーブルで接続して、メモリーカードに記録されたハイビジョン画質(HD)の動画をディスクに保存できます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機の電源は、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。

1 本機の電源を入れ、USBケーブル(付属)で本機の(USB)端子とレコーダーなどをつなぐ。

[USB機能選択]画面が表示されます。
[USB機能選択]画面が表示されないときは、MODEボタンを押して、[メディア管理]→[USB接続]をタッチして表示させてください。

2 本機の画面で、[A]または[B]をタッチする。

3 接続先機器で録画操作を行う。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ディスク作成が終わったら、本機の画面で[終了]→[はい]をタッチする。

5 USBケーブルを取り外す。

ご注意

- DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、作成したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れないでください。ディスクの取り出しができなくなることがあります。

標準画質(SD)のディスクを作る(A/V接続ケーブル接続)

本機をディスクレコーダーなどにA/V接続ケーブルで接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへダビングできます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

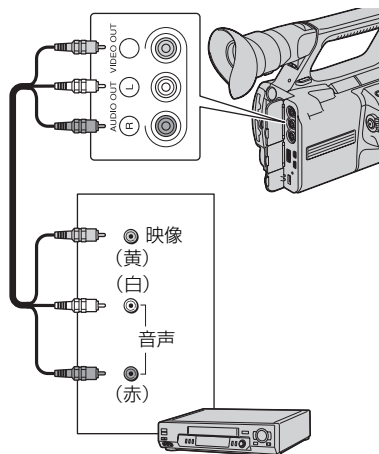
ご注意

- 本機の電源は、ACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ってください(13ページ)。
- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(SD)でダビングされます。

1 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

2 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル（付属）でつなぐ。

接続先機器の入力端子につないでください。

3 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ダビングが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

ご注意

- アナログデータを経由してダビングするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってダビングできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタンを押して、[表示設定]→[画面表示出力]→[パネル]を選んでください。
- 日時やカメラデータをダビングしたいときは、DATA CODEボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタンを押して、[表示設定]→[画面表示出力]→[全出力]を選んでください。
- 他機がモノラル（ひとつの音声入力・出力）の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ（左音声）または赤いプラグ（右音声）を音声入力へつなぎます。

パソコンを使って保存する

パソコンの準備をする(Windows)

「Content Management Utility」を使うと次の操作ができます。

- パソコンへの画像の取り込み
- 取り込んだ画像の閲覧

パソコンで動画を保存するには、あらかじめ付属のCD-ROM「Content Management Utility」からインストールします。

画像の編集や、ディスク作成などを行う場合は、市販のソフトウェアをお買い求めください。

準備1 パソコン環境を確かめる

OS*1
Microsoft Windows XP SP3*2/ Windows Vista SP2/Windows 7
CPU
ハイビジョン画質(HD)のFXモードで記録した動画を再生するには、Intel Core 2 Duo 2.20GHz以上のCPUをお使いください。 ハイビジョン画質(HD)のFX以外のモードで記録した動画についてはこの性能以下のCPUでも再生が可能な場合があります。 また、ビデオカードの性能によっては、この性能以下のCPUでも、FXモード以外で記録したハイビジョン画質(HD)の動画を再生できる場合があります。 以下の場合は、Pentium III 1GHz以上での動作が可能です。 • 動画のパソコンへの取り込み • 標準画質(SD)の動画のみを扱う場合
メモリー
Windows XP:512MB以上(1GB以上を推奨) ただし、標準画質(SD)の動画のみを扱う場合は、256MB以上で可能です。 Windows Vista/Windows 7:1GB以上
ハードディスク
インストールに必要なディスク容量:約100MB 取り込み、閲覧登録できるファイルシステムは、NTFSまたはexFATのみです。
ディスプレイ
解像度1,024×768ドット以上
その他
USB端子標準装備(Hi-Speed USB(USB 2.0準拠)) (インストールにはCD-ROMドライブが必要)

*1 工場出荷時にインストールされていることが必要です。アップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
*2 64bit 版は除きます。

ご注意

- すべてのパソコン環境について動作を保証するものではありません。
- 付属のソフトウェア「Content Management Utility」はMacintoshに対応していません。

準備2 付属 ソフトウェア「Content Management Utility」を インストールする

本機をパソコンにつなぐ前に、「Content Management Utility」をインストールします。

① パソコンに本機をつないでいないことを確認する。

② パソコンの電源を入れる。

- Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。
- 使用中のアプリケーションは、インストールの前に終了させておいてください。

③ パソコンのディスクドライブに CD-ROM「Content Management Utility」(付属)をセットする。

インストール画面が表示されます。

- インストール画面が表示されないときは、[スタート]→[コンピュータ](Windows XPの場合は[マイ コンピュータ])をクリックし、[SONYCMU(E:)](CD-ROM)をダブルクリックしてください。

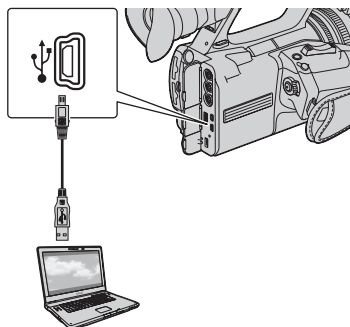
④ アプリケーションをインストールする言語を選んで、[OK]をクリックする。

⑤ インストールウィザード画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

⑥ 使用許諾契約の内容をよく読み、同意される場合は[次へ]をクリックする。

⑦ インストール先を選択して[次へ]をクリックする。

⑧ デスクトップショートカットの作成を選択して[次へ]をクリックする。

⑨ 本機の電源を入れ、USB ケーブルで本機とパソコンをつなぐ。

本機に[USB機能選択]画面が表示されます。

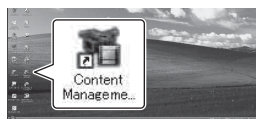
⑩ 本機の画面で[A]または[B]をタッチする。

- [USB機能選択]画面が表示されないときは、MODEボタンを押して、[メディア管理]→[USB接続]をタッチする。

⑪ [次へ]をクリックする。

⑫ パソコンの画面に従ってインストールする。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。

インストールが完了したら、手順⑧の選択によってデスクトップにアイコンが表示されます。

⑬ パソコンから CD-ROM を取り出す。

本機とパソコンの接続を終了するには

① パソコンのデスクトップ右下で、 アイコン →[USB 大容量記憶装置を安全に取り外します]をクリックする。

② 本機の画面で[終了]→[はい]をタッチする。

③ USB ケーブルを取り外す。

故障かな？と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 80 ～ 88 ページの項目をチェックし、本機を点検する。

② 電源を取り外し、約 1 分後再び取り付け、本機の電源を入れる。

③ RESET ボタン（110 ページ）を先の細いもので押してから、電源を入れる。
この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。

④ “ハンディカム”ホームページなどで確認する。
故障診断、修理のお申し込みなど
http://www.sony.co.jp/cam/support

⑤ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける（11ページ）。
- ACアダプター/チャージャーをコンセントに差し込む（13ページ）。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源（バッテリーまたはACアダプター/チャージャーの電源コード）を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET（リセット）ボタン（110ページ）を先のとがったもので押す。

本体が温かくなる。

- 本機使用中に本体が温かくなることがありますが、故障ではありません。

バッテリーの充電中、CHGランプが点灯しない。

- ACアダプター/チャージャーのモード切換スイッチを「ビデオ/カメラ」にする（12ページ）。
- POWERスイッチを「OFF（CHG）」にする（12ページ）。
- バッテリーを正しく取り付け直す（11ページ）。

• コンセントにプラグを正しく差し込む。
• すでに充電が完了している（12ページ）。

バッテリーの充電中、CHGランプが点滅する。

• バッテリーを正しく取り付け直す（11ページ）。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口に問い合わせる（裏表紙）。
• バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できずにCHGランプがゆっくり点滅することがあります。

バッテリー残量が正しく表示されない。

• 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
• 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（11、98ページ）。
• 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

• 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
• 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する（11、98ページ）。

液晶画面に画像が残る。

• 電源を入れた状態でバッテリーを外したり、DCプラグを抜いたりしたためで、故障ではありません。

ファインダーの画像がはっきりしない。

• 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす（15ページ）。

ファインダーの画像が消えている。

• ［VF点灯モード］を［オート］にしていると、液晶パネルを開いている間はファインダーは消灯します（74ページ）。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

• ［リモコン］を［入］にする（75ページ）。
• リモコンと本機リモコン受光部の間にある障害物を取り除く。
• 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがある。
• 電池を交換する。電池の＋極と－極を正しく入れる（111ページ）。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- ズーム操作などに対して反応が遅くなる場合があります。

メモリーカードについて

動画残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[残量表示]を[入]にする（74ページ）。

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット（初期化）したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する（57ページ）。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（95ページ）。

記録メディアのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。管理ファイルを修復する（59ページ）。

メモリーカードの画像消去ができない。

- 編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する（52ページ）。

撮影について

録画ボタンを押しても、撮影が始まらない。

- 再生画面になっている。再生を終了する（40ページ）。
- メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する（57ページ）。または不要な画像を削除する（56ページ）。
- 動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている（93ページ）。不要な画像を削除する（56ページ）。
- 本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- 本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。管理ファイルを修復する（59ページ）。

ハンドルズームが働かない。

- ハンドルズーム切換スイッチを「FIX」または「VAR」にする（24ページ）。

撮影を止めてもアクセスランプがついている。

- 撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- 動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなることがあります（92ページ）。

変更した設定が保持されない。

- メニューの設定は保持されないものがあります（62ページ）。
- 液晶画面バックライトや拡大フォーカスの設定は保持されません。
- POWERスイッチが「ON」のまま電源を外した。バッテリーやACアダプター/チャージャーを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF」にして、アクセスランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

録画ボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- 本機では、録画ボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

アスペクト比が切り換えられない。

- ハイビジョン画質（HD）のときは、動画の比率は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調節にする（25ページ）。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる（25ページ）。

MODEメニューで機能を選ぼうとすると、「この機能は使えない状態です」と表示される。

- すべてのMODE機能を終了してから、再度実行してください。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能（メニューがDisable）	以下のとき
[逆光補正]、[スポットライト]、[AEシフト]の[入/切]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードの3つが手動設定のとき
[フェーダー]	録画できない状態のとき 記録先メディアの残量が1分未満のとき [カラーバー]が[入]のとき
[ゼブラ]、[ピーキング]、[カメラデータ表示]	[カラーバー]が[入]のとき
[マーカー]の[入/切]	[EXPANDED FOCUS]が[入]のとき 電源入時の日時表示のとき
[パネルバックライトレベル]、[VFバックライト]	AC電源を使用しているとき
[エリア設定]、[サマータイム]	日付時刻が設定されていないとき
[カラーバー]	動画撮影中 [フェーダー]を選択しているとき [EXPANDED FOCUS]が[入]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- シャッタースピード（27ページ）が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える

- フォーカルプレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子（CMOSセンサー）の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

液晶画面が白すぎて画像が見えない。

- ［逆光補正］を解除する。

液晶画面が暗すぎて画像が見えない。

- DISPLAYボタンを数秒間押したままにして、バックライトを点灯する（15ページ）。

横帯が現れる。

- 蛍光灯･ナトリウム灯･水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります（27ページ）。

画面が上下分割されたように見える。

- 被写体にフラッシュを当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、なるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります（27ページ）。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する（27ページ）。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- ［ディテール］で「-」側に調整する（33ページ）。

タイムコードがつながらない。

- ［録画フォーマット］で設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生について

「メモリーカードについて」（82ページ）もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- ビジュアルインデックス画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する（40ページ）。
- パソコンでフォルダーやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります（静止画再生時はファイル名が点滅）。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- VISUAL INDEX画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、←/↑/→/↓ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXECボタンを押す（41ページ）。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う（95ページ）。
- フォルダー構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする（42ページ）。
- [SMOOTH SLOW REC]で記録した箇所には音声が記録されません。

[－ － －]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したメモリーカードを再生している。
- [SMOOTH SLOW REC]や[カラーバー]を[入]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。
- [動画から静止画作成]で作成した静止画では、露出補正値とフラッシュ情報がバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

D端子コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて[ビデオ出力]を正しく設定する(68ページ)。
- コンポーネントプラグ(D端子)だけでつないでいるため。A/V接続ケーブルの白と赤のプラグも合わせてつなぐ(46ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力することはできません。

HDMIケーブルを使用して、テレビやプロジェクター、AVアンプにつないでも、画像や音声が再生されない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。[録画/出力設定]→[ビデオ出力]→[TVタイプ]を設定して再生してください(69ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で故障ではありません。

ダビング/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[画面表示出力]を[パネル]にする(74ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルが正しくつながれていない。A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。

次のページへつづく→

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
- パソコンからケーブルを抜き、パソコンを再起動させてから、正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むには付属のソフトウェアのインストールが必要です（78ページ）。

パソコンがハングアップする。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ（78ページ）。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。
お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

C:04:□□

- "インフォリチウム"以外のバッテリーが使われている。必ず"インフォリチウム"バッテリーを使う(97ページ)。
- ACアダプター/チャージャーのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりつなぐ(13ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り出し、入れ直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:20:□□/E:61:□□/E:62:□□/E:92:□□/E:94:□□

- 80ページの②～⑤の手順でお試しください。

(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5～10分でも警告表示が点滅することがある。

(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

A B (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、3ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(18ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(56ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(76、78ページ)、メモリーカードを初期化する(57ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(59ページ)。

A B (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(57ページ)。

A B (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(3ページ)。

困ったときは

次のページへつづく→

A O-m B O-m(メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

* [操作音]が[入]に設定されていると、警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(75 ページ)。

お知らせメッセージ

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

「データエラーが発生しました」

- メモリーカードへの書き込み中、または読み出し中にエラーが生じた。2,3回やり直しても表示されるときは、メモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

「バッファオーバー」

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直してください(57ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録速度に十分でない。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(3ページ)。

「管理ファイルがありません 動画を記録・再生できません 新規作成しますか?」

- 画像管理用ファイルが存在しない。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。

「HD動画の管理情報が破損しています 新規作成しますか?」

- ハイビジョン画質(HD)の動画管理用ファイルが破損している。[はい]をタッチすると管理ファイルが新規作成されます。本機のメモリーカードにある過去に撮影した画像が、本機で再生できなくなります(画像ファイルは壊れません)。新規作成後[管理ファイル修復]を実行すると、過去に撮影した画像が再生できるようになる場合もあります。それでも再生できない場合、付属のソフトウェアを使用してパソコンに画像ファイルをコピーしてください。

「HD動画の管理情報がありません 新規作成しますか?」

- ハイビジョン画質(HD)の動画管理情報がないため、撮影や再生ができない。[はい]をタッチすると管理情報が新規作成され、ハイビジョン画質(HD)の動画の撮影・再生ができるようになります。
- 標準画質(SD)の動画の撮影は可能です。

「管理ファイルに不整合が見つかりました HD動画を記録・再生できません 修復しますか?」
「管理ファイルが破損しています 動画を記録・再生できません 修復しますか?」
「管理ファイルに不整合が見つかりました 動画を記録・再生できません 修復しますか?」

- 管理ファイルが破損している、または不整合があり、動画撮影ができない。[はい]をタッチして修復してください。

「データ修復中」

- メモリーカードに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

「データを修復できませんでした」

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。メモリーカードへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

「メモリーカードAを入れなおしてください」

「メモリーカードBを入れなおしてください」

- メモリーカードを2、3回入れ直してください。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

「メモリーカードAはフォーマットエラーです」

「メモリーカードBはフォーマットエラーです」

- メモリーカードのフォーマットを確認し、必要ならば本機で初期化してください(57ページ)。

「メモリーカードAは動画を記録・再生できない可能性があります」

「メモリーカードBは動画を記録・再生できない可能性があります」

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(3ページ)。

「メモリーカードAは正常に記録・再生できない可能性があります」

「メモリーカードBは正常に記録・再生できない可能性があります」

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(3ページ)。
- ソニーの相談窓口(裏表紙)にお問い合わせください。

「書き込み中にメモリーカードAが抜かれました データが壊れた可能性があります」

「書き込み中にメモリーカードBが抜かれました データが壊れた可能性があります」

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従ってください。

その他

「これ以上選択できません」

- プレイリストにはハイビジョン画質(HD)で999個、標準画質(SD)で99個までしか動画を追加できません。
- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
  - 画像の削除
  - 画像のプロテクト、解除
  - ハイビジョン画質(HD)の動画のプレイリスト

「このデータはプロテクトされています」

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除してください。

記録時間について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

「HD」はハイビジョン画質、「SD」は標準画質を表しています。

撮影可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	連続撮影時		実撮影時	
画質	HD	SD	HD	SD
NP-F570	130 130	150 150	80 80	85 85
NP-F770	285 285	320 320	170 170	185 185
NP-F970	425 425	480 480	245 245	285 285

ご注意

- 上段：液晶画面バックライトが[入]のとき
  下段：液晶画面を閉じてファインダーを使用したとき
- 録画フォーマット：HD画質 FX、SD画質 HQのとき
- 実撮影時とは、録画スタンバイ、ズームなどを繰り返したときの時間です。
- 25℃で使用したときの時間です。10～30℃でのご使用をおすすめします。
- 低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影・再生可能時間が短くなります。

再生可能時間

満充電からのおよその時間です。

（単位：分）

バッテリー型名	液晶画面で再生*	
画質	HD	SD
NP-F570	225	270
NP-F770	460	550
NP-F970	690	830

* 液晶バックライトが[入]のとき

動画の撮影可能時間の目安

■ ハイビジョン画質（HD）

（単位：分）

	AVCHD 24M (FX)	AVCHD 17M (FH)	AVCHD 9M (HQ)	AVCHD 5M (LP)
1GB	5 (5)	6 (6)	10 (9)	20 (15)
2GB	10 (10)	10 (10)	25 (15)	40 (35)
4GB	20 (20)	25 (25)	50 (40)	90 (75)
8GB	45 (45)	55 (55)	105 (80)	185 (155)
16GB	90 (90)	115 (115)	215 (165)	375 (315)
32GB	180 (180)	235 (235)	435 (335)	750 (630)

■ 標準画質（SD）

（単位：分）

	SD 9M (HQ)
1GB	10 (10)
2GB	25 (25)
4GB	55 (50)
8GB	115 (105)
16GB	235 (210)
32GB	475 (425)

ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[録画フォーマット]（23ページ）によっても変ります。
- （　）内は最低録画時間です。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質（HD）で最大3,999個、標準画質（SD）で9,999個です。
- 動画の連続撮影可能時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート（一定時間あたりの記録データ量）を自動調節するVBR（Variable Bit Rate）方式を採用しています。そのため、記録メディアへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像は記録メディアの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、記録メディアの録画時間は短くなります。
- 各録画モードのビットレート（動画＋音声など）、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。
  HD画質
  FX：最大24Mbps 1,920×1,080画素/16:9
  FH：約17Mbps（平均） 1,920×1,080画素/16:9
  HQ：約9Mbps（平均） 1,440×1,080画素 16:9
  LP：約5Mbps（平均） 1,440×1,080画素/16:9
  SD画質
  HQ:約9Mbps（平均） 720×480画素/16:9、4:3
- 静止画記録画素数およびアスペクト比
  動画から静止画作成
  1,920×1,080ドット/16:9
  640×360ドット/16:9
  640×480ドット/4:3

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。
別売のACアダプター/チャージャーAC-VQ1051D（ACCKIT-D20に付属）は、全世界の電源（AC100V～240V、50/60Hz）で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

ハイビジョン画質（HD）で見るには

ハイビジョン画質（HD）で記録した画像をハイビジョン画質（HD）で見るには、ハイビジョン対応のテレビ（またはモニター）とコンポーネントビデオケーブル（別売）またはHDMIケーブル（別売）が必要です。
本機の再生するハイビジョン信号に対応している主な国、地域は「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

標準画質（SD）で見るには

標準画質（SD）で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）と接続ケーブルが必要です。

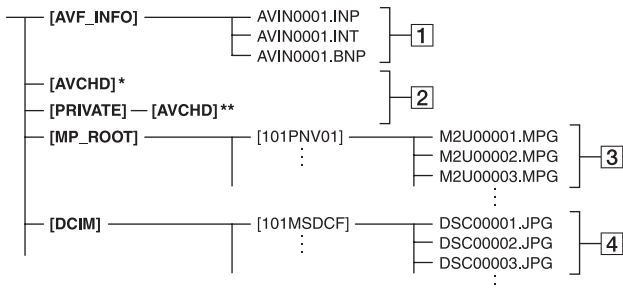
テレビ方式がNTSCの国、地域（五十音順）

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード･トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、プエルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコ など

時差補正機能ついて

海外で使うとき、[エリア設定]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます（75ページ）。

メモリーカードのファイル / フォルダー構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダー構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。

* “メモリースティック PRO デュオ”

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

1 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

2 HD 動画管理情報フォルダー

本フォルダー以下にハイビジョン画質（HD）の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダーや、本フォルダー内のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

3 SD 動画ファイル（MPEG-2 ファイル）

拡張子は「.MPG」。ファイルサイズの上限は2GBです。2GBを超えると自動でファイルが分割されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい動画ファイルはそちらに記録されます。

フォルダー名は、「101PNV01」→「102PNV01」のように繰り上がります。

4 静止画ファイル（JPEG ファイル）

拡張子は「.JPG」。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダーが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。

フォルダー名は、「101MSDCF」→「102MSDCF」のように繰り上がります。

- メモリーカードは、MODEボタンを押して、[メディア管理]→[USB接続]→[A]/[B]を選択して本機とパソコンをUSB接続することで、パソコンからアクセス可能になります。
- パソコンから本機のファイルやフォルダーを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、56ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメモリーカード内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマット（初期化）しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機のメモリーカードにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- メモリーカードのデータをパソコンに取り込むには、付属のソフトウエア「Connect Management Utility」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、ハイビジョン(HD)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4 AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。
MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、ハイビジョン(HD)記録ができます。また、AVCHD規格でのハイビジョン(HD)記録に加え、従来のMPEG-2規格で標準(SD)記録することもできます。

映像*:MPEG-4 AVC/H.264
1920×1080/60i、1920×1080/24p、1440×1080/60i
音声:ドルビーデジタル 2ch
記録メディア:メモリーカード

* 本機は、上記以外の AVCHD 規格で記録されたデータの再生には対応していません。

- 1080i 有効走査線数1080本、インターレース方式のハイビジョン規格

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。
  - 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。
- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリーカードアダプターの使用について

- メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は（社）電子情報技術産業協会にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"に対応しています。
- 統一規格に対応していない機器（DCR-TRV900、DSC-D700/D770）で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、57ページの手順に従い、本機でフォーマット（初期化）をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- 次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
  – パソコンで加工した画像データ
  – 他機で撮影した画像データ

"メモリースティック"について

"メモリースティック"の種類	記録/再生
"メモリースティック デュオ"（マジックゲート対応）	—
"メモリースティック PRO デュオ"（Mark2）	○
"メモリースティック PRO-HG デュオ"	○*

* 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応せず、"メモリースティック PRO デュオ"と同等の 4 ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。"マジックゲート"とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー（Lシリーズ）のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。"インフォリチウム"バッテリーLシリーズには InfoLITHIUM L マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

"インフォリチウム"バッテリーは、本機や別売のACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。
別売のACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- 本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- 周囲の温度が10〜30℃の範囲で、ACアダプター/チャージャーの充電ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が10℃未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
  – バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
  – 高容量バッテリー「NP-F770/F970（別売）」を使う。
- 液晶画面の使用や再生/早送り/早戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。

次のページへつづく➡

高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売)」のご使用をおすすめします。

- 本機で撮影や再生中は、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- バッテリー残量時間が約5～10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください(14ページ)。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

x.v.Color(エックスブイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、x v YCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- x v YCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
  炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動や強力な磁気のある場所
  故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
  正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
  雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
  液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただくために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

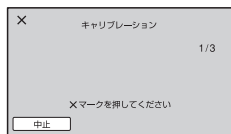
液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。

■ タッチパネルの調節（キャリブレーション）について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

① 本機の電源を入れる。

② MENU ボタンを押す→ SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、（その他）→[キャリブレーション]を選択する。

③ メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3 回タッチする。

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

ご注意

- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶画面を傷つける場合があります。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
  - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類。
  - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
  - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

次のページへつづく→

内蔵の充電式電池について

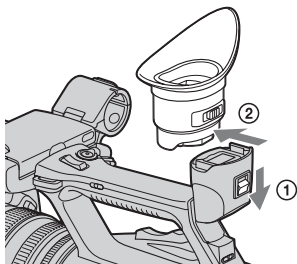
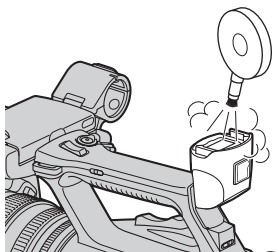
本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプター/チャージャーでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプター/チャージャーで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

本機を別売のACアダプター/チャージャーを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

ファインダーのお手入れについて

1 接眼部を外す。

ビューファインダー取り外しつまみを下にずらしたまま（①）、矢印の方向に接眼部をずらして外す（②）。

2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のブロワーブラシなどで取り除く。

主な仕様

システム

信号方式	NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i
ビデオ記録方式	HD画質:MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD SD画質:MPEG-2 PS
音声記録方式	Dolby Digital 2ch(48kHz 16bit) ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
静止画記録方式	DCF Ver.2.0準拠 Exif Ver.2.21準拠 MPF Baseline準拠
記録メディア(動画・静止画)	"メモリースティック PRO デュオ" SDカード(Class 4以上)
ファインダー	電子ファインダー:カラー 画面サイズ:1.1cm(0.45型、アスペクト比16:9) 総ドット数:1 226 880ドット(852 x 3[RGB] x 480相当)
撮像素子	6.0mm(1/3型)3CMOSセンサー 総画素数:約112万画素 動画時有効画素数(16:9モード):約104万画素* 動画時有効画素数(4:3モード):約78万画素*
ズームレンズ	Gレンズ 20倍(光学)、約30倍(デジタル、デジタルエクステンダー[入]時) f=4.1 ~ 82.0mm 35mmカメラ換算* 29.5~590mm(16:9モード) (4:3モードでは36.1~722mm) F1.6~3.4 フィルター径72mm
色温度切り換え	オート ワンプッシュ(A, B) 屋内(3 200K) 屋外(5 800K)
最低被写体照度	1.5 lx(ルクス)(シャッタースピード固定(1/30)、オートゲインコントロール、アイリスオート)(F1.6)

* [手ブレ補正]の[設定]が[手ブレ補正]または[切]のとき

出力端子

VIDEO OUT端子	ピンジャック 1Vp-p、75Ω不平衡、同期負
AUDIO OUT端子	ピンジャック -10dBu(47kΩ負荷時)、出力インピーダンス2.2 kΩ以下 (0dBu=0.775Vrms)
COMPONENT OUT端子	ミニD端子 Y:1Vp-p、75Ω PB/PR. CB/CR:0.7Vp-p、75Ω
HDMI OUT端子	HDMIコネクタ
∩(ヘッドホン)端子	ステレオミニジャック (φ3.5mm)

入力端子

INPUT1/INPUT2端子	XLR型3ピン×2、凹 MIC:-48dBu:3kΩ INPUT TRIM 機能により、-60dBu~-30dBuの範囲で可変(6dBステップ) LINE:+4dBu:10kΩ (0dBu=0.775Vrms)

入/出力端子

USB端子	mini-B
リモート端子	ステレオミニミニジャック (φ2.5mm)

液晶画面

画面サイズ	8.0cm(3.2型、アスペクト比16:9)
総ドット数	921 600ドット 横1 920×縦480

次のページへつづく→

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用時) DC8.4V(ACアダプター/チャージャー使用時)
消費電力	ファインダー使用時、明るさ標準: HD記録時 6.7W SD記録時 5.9W 液晶画面使用時、明るさ標準: HD記録時 6.7W SD記録時 5.9W
動作温度	0℃～40℃
保存温度	−20℃～+60℃
外形寸法	173×193×393mm (突起部含む)(幅×高さ×奥行き)
本体質量	約2.1kg(レンズフード含む)
撮影時総質量	約2.4kg (バッテリーパック(NP-F770)、レンズカバー付きフード含む。)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口（裏表紙）にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取りはずしてください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品やメモリーカードなどを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続･配置してください。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中のバッテリーや製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。呼びかけられたら返事が出来るくらいの音量で聞きましょう。

禁止

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険

- バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- ボタン電池は充電しないでください。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取りはずしておく。

指示

お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

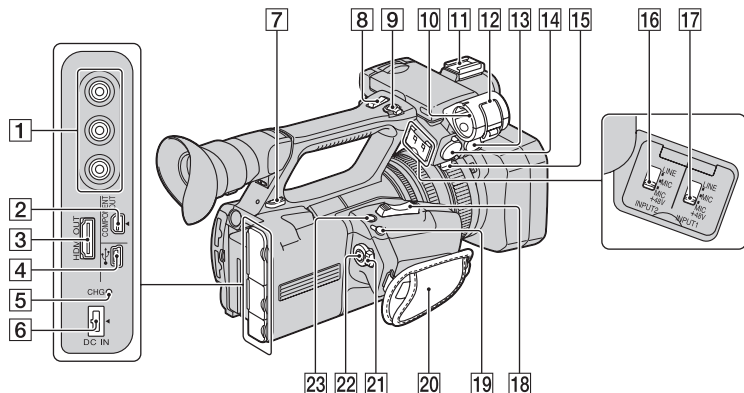
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については

一般社団法人 JBRC
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照してください。

Li-ion

リチウムイオン電池

各部のなまえ

（　）内は参照ページです。

1 VIDEO OUT端子/AUDIO OUT端子（46、76）

2 COMPONENT OUT端子（46）

3 HDMI OUT端子（46）

4 USB端子（76、78）

5 CHG（充電）ランプ（12）

6 DC IN端子（12）

7 ショルダーストラップ取り付け部（109）

8 ハンドルズームレバー（24）

9 ハンドル録画ボタン（21）

10 マイクホルダー

11 アクセサリーシュー

12 マイク固定用クランパー

13 INPUT1端子（34）

14 INPUT2端子（34）

15 ケーブルホルダー
マイクケーブルなどを固定するときに使います。

16 INPUT2スイッチ（34）

17 INPUT1スイッチ（34）

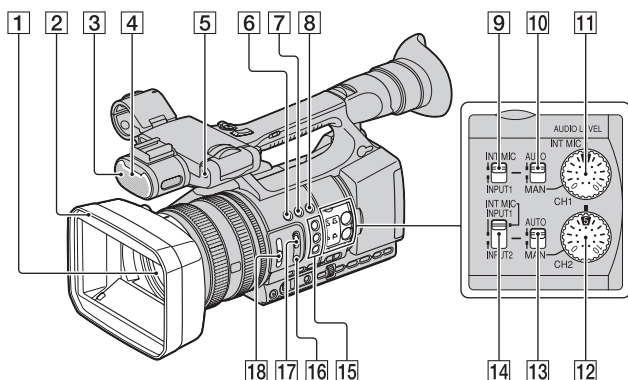
18 ズームレバー（24）

19 REMOTE 端子
REMOTE 端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。

20 グリップベルト（14）

21 POWER スイッチ（14）

22 録画ボタン（21）

23 ASSIGN7ボタン/EXPANDED FOCUSボタン（38）

1 レンズ（10）

2 レンズカバー付きフード（10）

3 内蔵マイク（34）

4 前部録画ランプ（75）
メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

5 リモコン受光部（75）

6 ASSIGN4 ボタン /ZEBRA ボタン（38）

7 ASSIGN5 ボタン /AE SHIFT ボタン *（38）

8 ASSIGN6 ボタン /VISUAL INDEX ボタン（38）

9 CH1（INT MIC/INPUT1）スイッチ（35）

10 AUTO/MAN（CH1）スイッチ（35）

11 AUDIO LEVEL（CH1）ダイヤル（35）

12 AUDIO LEVEL（CH2）ダイヤル（35）

13 AUTO/MAN（CH2）スイッチ（35）

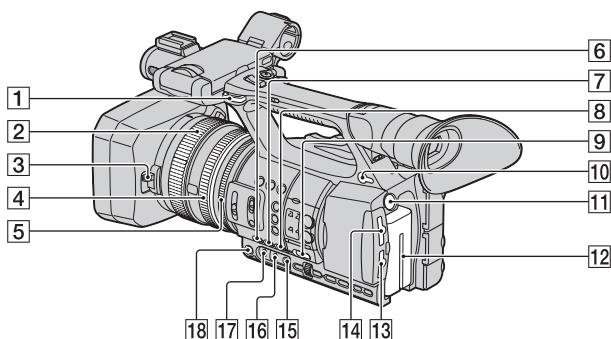
14 CH2（INT MIC/INPUT1/INPUT2）スイッチ（35）

15 ASSIGN1/2*/3 ボタン（38）

16 PUSH AUTO ボタン（25）

17 FOCUS スイッチ（25）

18 ND フィルター（28）

* ASSIGN5 ボタン /AE SHIFT ボタン、ASSIGN2 ボタンに凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

1 ショルダーストラップ取り付け部

2 フォーカスリング(25)

3 レンズカバーレバー(10)

4 ズームリング(24)

5 アイリスリング(26)

6 GAINボタン(27)

7 WHT BALボタン*(29)

8 SHUTTER SPEEDボタン(27)

9 AUTO/MANUALスイッチ(26)

10 ◯(ヘッドホン)端子
ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

11 BATT RELEASEボタン(12)

12 バッテリー(11)

13 メモリーカード Bスロット/選択ボタン/アクセスランプ(18)

14 メモリーカード Aスロット/選択ボタン/アクセスランプ(18)

15 (one push)ボタン(29)

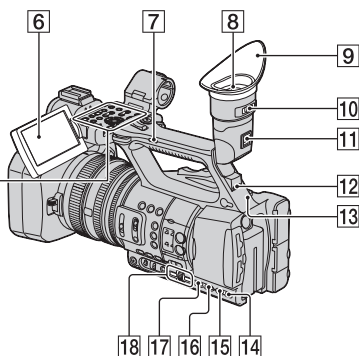
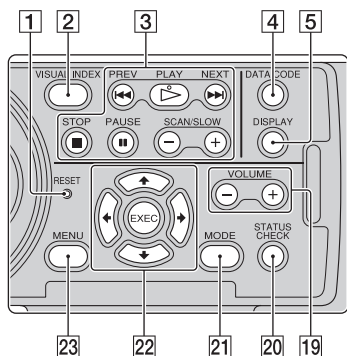
16 ホワイトバランスメモリースイッチ(29)

17 ゲインスイッチ(27)

18 IRISボタン(26)

* WHT BAL ボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ショルダーストラップ(別売)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。

1 RESET ボタン
RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロファイルで設定した内容は解除されません。

2 VISUAL INDEXボタン(40)

3 再生操作ボタン(PREV/PLAY*/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOW)(40)

4 DATA CODEボタン(44)

5 DISPLAYボタン(44)

6 液晶画面・タッチパネル(15)

7 ハンドルズームスイッチ (24)

8 ビューファインダー(16)

9 大型アイカップ(16)

10 視度調節つまみ(15)

11 ビューファインダー取り外しつまみ(100)

12 HEADPHONE MONITOR スイッチ(36)

13 後部録画ランプ(75)
メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

14 STATUS CHECKボタン(45)

15 PICTURE PROFILEボタン*(30)

16 MODEボタン(51)

17 MENUボタン**(17、60)

18 SEL/PUSH EXECダイヤル/←/→ボタン(17、60)

19 VOLUMEボタン*(40)

20 STATUS CHECK ボタン(45)

21 MODEボタン(51)

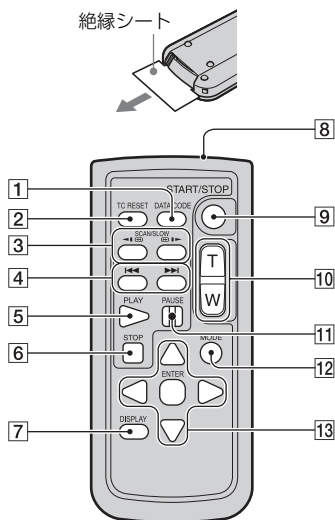
22 ↑/↓/←/→/EXEC ボタン(60)

23 MENUボタン*(60)

* PICTURE PROFILEボタン、VOLUMEの+ボタン、MENUボタン、PLAYボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。

1 DATA CODEボタン（44）

2 TC RESETボタン

本機では、TC RESETボタンは機能しません。

3 SCAN/SLOWボタン（40）

4 ⏮ ⏭（PREV/NEXT）ボタン（40）

5 PLAYボタン（40）

6 STOPボタン（40）

7 DISPLAYボタン（44）

8 リモコン発光部

9 START/STOPボタン（21）

10 ズームボタン（24）

11 PAUSEボタン（40）

12 MODEボタン（51）

13 ◄ / ► / ▲ / ▼ / ENTERボタン

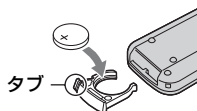
リモコンについてのご注意

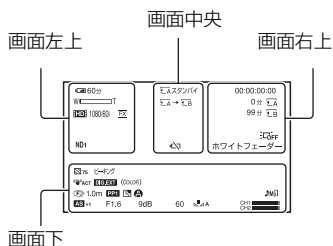
- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換するには

① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。

② ＋面を上にして新しい電池を入れる。

③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。

- リモコンには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示

画面左上

表示	意味
60分	バッテリー残量の目安
HD 1080/60i FX	録画フォーマット(23)
4:3	SD ワイド記録(68)
NDOFF ND1 ND2 ND3	ND フィルター(28)

画面中央

表示	意味
A B	メモリーカード
A→B B→A	リレー記録(22)
スタンバイ ●録画	撮影状態(20)
	警告(89)
►	再生表示(40)

画面右上

表示	意味
0分	記録残量時間の目安
A B	記録/再生メディア
00:00:00:00	タイムコード(時:分:秒:フレーム)
OFF	バックライト切(15)
ホワイトフェーダー ブラックフェーダー	フェーダー(67)

画面下

表示	意味
ピーキング	ピーキング(72)
	ゼブラ(72)
ACT OFF	手ブレ補正(66)
DIG.EXT	デジタルエクステンダー(66)
(COLOR)	x.v.Color(67)
	手動フォーカス(25)
PP1 ~ PP6	ピクチャープロファイル(30)
	逆光補正(65)
	スポットライト(65)
クローズ	アイリス(26)
9dB	ゲイン(27)
60	シャッタースピード(27)
M1/2	手動音量調節(35)
AS	AEシフト(65)
A	自動設定(73)
A B	ホワイトバランス(29)

ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます(44ページ)。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

次のページへつづく➡

マ行

ラ行

ワ行

A

B

C

D

E

F

H

I

M

N

O

P

R

S

T

U

V

W

X

Z

商標について

- “ハンディカム”、HANDYCAM はソニー株式会社の登録商標です。
- AVCHDおよびAVCHDロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“マジックゲート”、MAGICGATE、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。
- G はソニー株式会社の商標です。
- “x.v.Color”はソニー株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows MediaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXC、SDHCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- MultiMedia Cardは、MultiMediaCard Associationの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA. L.L.C.,（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

（i）消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4AVC 規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

（ii）AVC Video（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウエアである「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」が搭載されております。当該ソフトウエアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容に関しては同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダ-にある「license1.pdf」をご覧ください。「C Library」、「Expat」、「zlib」、「libjpeg」、「dtoa」、「pcre」の記載（英文）が収録されています。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウエアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser GeneralPublic License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウエアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウエアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HDR-AX2000をお選びください。

http://www.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容に関しては、同梱CD-ROMに記載されていますので、以下に示す方法にしたがって、内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

CD-ROMの「License」フォルダ-にある「license2.pdf」をご覧ください。「GPL」、「LGPL」の記載(英文)が収録されています。

PDFをご覧になるにはAdobe Readerが必要です。パソコンにインストールされていない場合には下記のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.adobe.com/

■ 製品についてのサポートのご案内

ホームページで調べる

“ハンディカム”の最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
http://www.sony.co.jp/cam/support/

“ハンディカム”ホームページ
http://www.sony.co.jp/cam
“ハンディカム”の最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。

付属ソフトウェア(Content Management Utility)のサポート情報
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

▼

電話で問い合わせる(ソニーの相談窓口)

●使い方相談窓口
フリーダイヤル 0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月~金 9:00 ~ 18:00　土・日・祝日 9:00 ~ 17:00

●修理相談窓口
フリーダイヤル 0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間:月~金 9:00 ~ 20:00　土・日・祝日 9:00 ~ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX(共通):0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

4163319040

Printed in Japan

SONY HANDYCAM HDR-AX2000